

資料4

留学生30万人計画実現に向けた留学生
の住環境支援の在り方検討会（第1回）
H26.4.17

留学生の住環境の現状

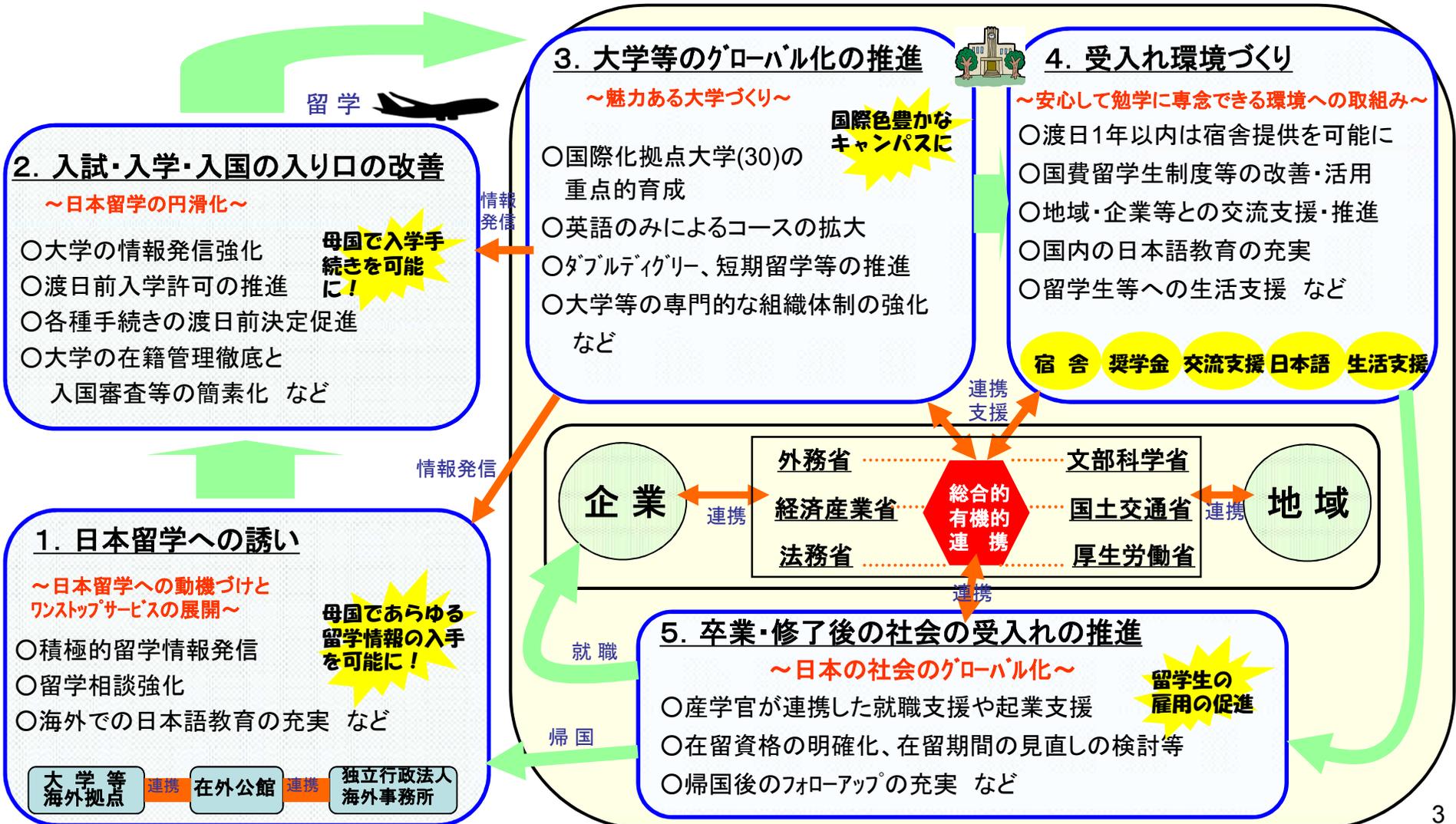
1. 外国人留学生の受入れ 2
2. 留学生宿舎の現状 8
3. 大学における取組事例 28
4. 留学生の住環境に関する支援 36

1. 外国人留学生の受入れ

「留学生30万人計画」骨子の概要

ポイント

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進



日本再興戦略-JAPAN is BACK-(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

一. 日本産業再興プラン

2. 雇用制度改革・人材力の強化

⑦グローバル化等に対応する人材力の強化

世界に勝てる真のグローバル人材を育てるため、「教育再生実行会議」の提言を踏まえつつ、国際的な英語試験の活用、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与、及びグローバル化に対応した教育を牽引する学校群の形成を図ることにより、2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させる。優秀な外国人留学生についても、2012年の14万人から2020年までに30万人に倍増させること(「留学生30万人計画」の実現)を目指す。

また、産業構造の変化に対応した学び直し等の機会を拡大する。

○意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与

- ・ 高校・大学等における留学機会を、将来グローバルに活躍する意欲と能力のある若者全員に与えるため、留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進、給付を含む官民が協力した新たな仕組みを創設する。また、支援策と併せて、姉妹校締結や海外の大学と単位互換の取組等、大学の教育環境整備を進めるなど、必要な措置をパッケージとして講ずるための具体策を本年8月末までに検討を進め結論を得た上で、概算要求等に反映させる。
- ・ 就職・採用活動開始時期変更【再掲】を行うほか、多様な体験活動の促進に資する秋季入学に向けた環境整備を行う。
- ・ 留学機会の確保と併せ、優秀な外国人留学生獲得のための海外の重点地域を選定し、大学等の海外拠点の強化や支援の充実による戦略的な外国人留学生の確保を推進するとともに、留学経験者の把握等ネットワークを強化するなど、優秀な外国人留学生の受入れを促進する。

第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

未来への飛躍を実現する人材の養成

基本施策16

外国語教育、双方向の留学生交流・国際交流、大学等の国際化など、グローバル人材育成に向けた取組の強化

16-2 高校生・大学生等の留学生交流・国際交流の推進

・ 日本人の海外留学者数の大幅な増加(2020年を目途に日本の海外留学生数を倍増(大学等:6万人から12万人, 高校:3万人から6万人))を目指し, 高校, 大学等における留学機会を, 将来グローバルに活躍する意欲と能力ある若者全員に与えるため, 留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進, 給付を含む官民が協力した新たな仕組みを創設する。また, 地域や高校, 大学等における留学情報の収集・提供等の強化を実施するとともに, 関係府省と連携し, 就職・採用活動開始時期を変更し, 留学しやすい環境を整備する。

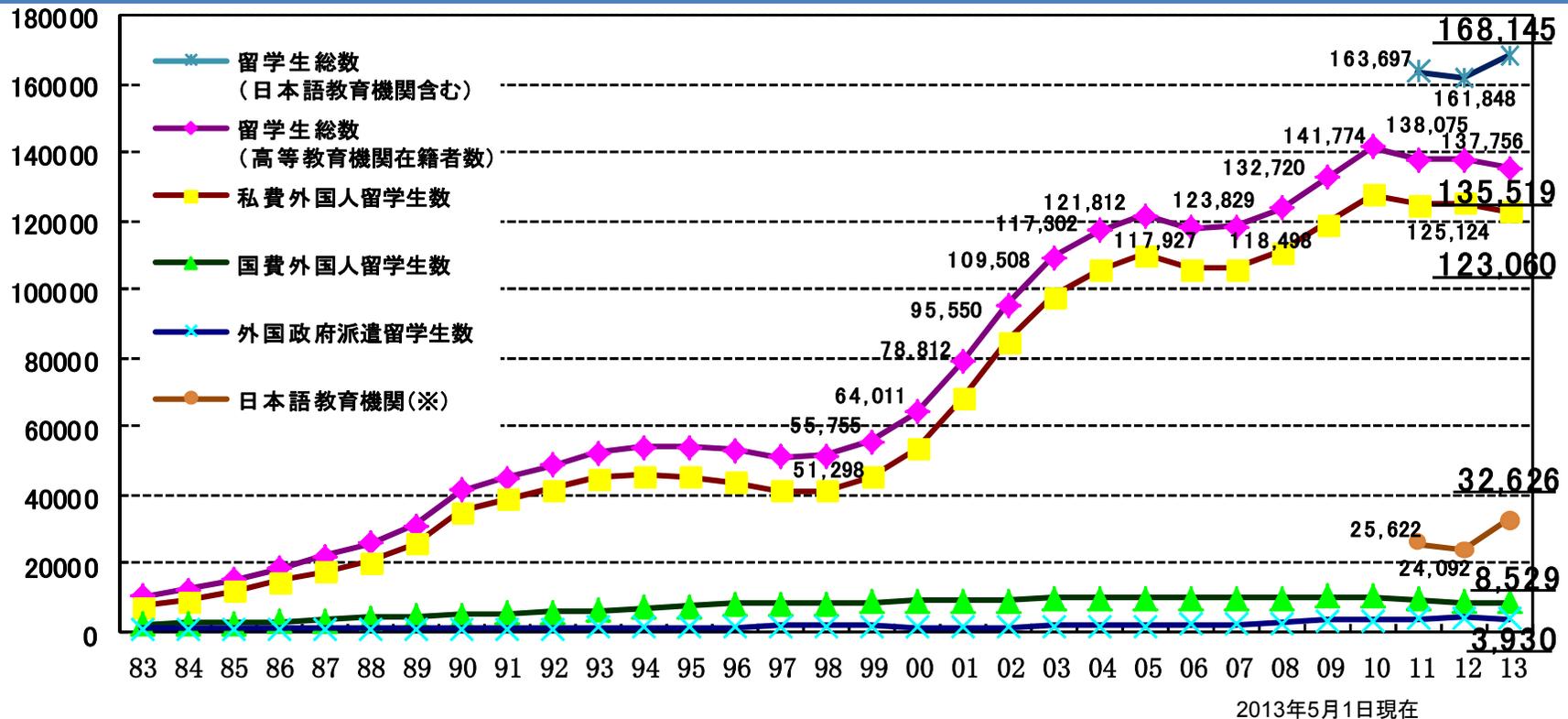
さらに, 様々な交流機会の提供(外国人留学生と日本人学生・若手社会人との知的交流の促進等)や, 子どもたちに国際的な視野を持たせ, 留学への機運を醸成する取組の充実等を図る。

・ 「留学生30万人計画」の実現を目指し, 大学等の国際化に向けた体制整備, 奨学金等の経済的支援, 海外拠点を活用した留学フェア等の実施, 外国人留学生に対する生活・就職支援等の充実による戦略的な外国人留学生の確保を推進するとともに, 留学経験者の把握等ネットワークを強化するなど, 優秀な外国人留学生の受入れを促進する。

外国人留学生の受入れの現状

(日本学生支援機構調べ)
各年5月1日現在

推移



出身国・地域別

国・地域名	留学生数 (前年数)	対前年比	国・地域名	留学生数 (前年数)	対前年比
中国	81,884 (86,324)	△4,440	マレーシア	2,293 (2,319)	△26
韓国	15,304 (16,651)	△1,347	タイ	2,383 (2,167)	216
ベトナム	6,290 (4,373)	1,917	米国	2,083 (2,133)	△50
台湾	4,719 (4,617)	102	ミャンマー	1,193 (1,151)	42
ネパール	3,188 (2,451)	737	その他	13,772 (13,294)	478
インドネシア	2,410 (2,276)	134	合計	135,519 (137,756)	△2,237

※「出入国管理及び難民認定法」の改正(平成21年7月15日公布)により、平成22年7月1日付けで在留資格「留学」「就学」が一本化されたことから、平成23年5月以降は日本語教育機関に在籍する留学生も含めた留学生総数を計上。なお、日本語教育機関に在籍する外国人留学生数(平成25年5月1日現在)は、32,626人。

優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

(「留学生30万人計画における文部科学省の取組」)

【平成26年度予算額】
269億円

- 重点地域等を設定し、国費外国人留学生制度における「地域戦略枠」の創設等、日本の成長につながる優秀な外国人留学生の受入れを増加させる。
- 各大学において現地で入学許可を出す仕組みづくりを促進し、「攻め」の留学生施策を実施する。
- 大学の徹底した国際化や奨学金等の受入れ施策の充実を図り、外国人留学生の受入れを拡充する。
- 関係省庁や経済団体とも連携し、卒業後の就職支援等についてのグッドプラクティスを増やすことで外国人留学生受入れの呼び水効果を強化する。

留学生30万人計画の骨子

1. 日本留学への誘い

～日本留学への動機付けとワンストップサービスの展開～

2. 入試・入学・入国の入り口の改善

～日本留学の円滑化～

3. 大学等のグローバル化の推進

～魅力ある大学づくり～

4. 受入れ環境づくり

～安心して勉強に専念できる環境への取組～

5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進

～日本の社会のグローバル化～

平成26年度予算

● 留学コーディネーター配置事業 0.9億円(3箇所)【新規】

日本留学の司令塔となる留学コーディネーターを重点地域等に配置し、在外公館や我が国の政府関係機関の海外事務所、大学等と連携して、現地での情報収集・発信の強化、人的ネットワーク構築を行い、外国人留学生の受入れ促進を図る。

● 日本留学情報発信機能の充実

・ 日本留学フェア等の実施(21都市) 1.4億円(1.8億円)

● 現地における入学許可の推進等

・ 日本留学試験の実施(17都市)等 3.9億円(2.7億円)

● スーパーグローバル大学等事業 99億円【新規】

外国トップ大学との連携や海外展開、教育環境の徹底した国際化等(30校)

● 大学の世界展開力強化事業 28億円(28億円)

グローバル人材育成と大学教育のグローバル展開力強化のため学生交流を促進し、海外大学と戦略的ネットワーク形成を図る。(インド、ロシア)【平成26年度(新規6件3億円)】

● 外国人留学生奨学金制度

・ 国費外国人留学生制度 187.1億円(187.1億円)

11,006人→11,260人(254人増)

→ 「戦略枠」の創設

・ 文部科学省外国人留学生学習奨励費 48.9億円(63.9億円)

7,785人(前年同)

→ 予約権付奨学金の拡充

・ 留学生交流支援事業(短期受入れ(1年以内)) 16億円(16億円)

5,000人

→ 欧米をはじめ多様な国からの受入れを加速

● 留学生交流拠点整備事業 0.5億円(0.5億円)

大学等が自治体やNPO等と連携した留学生の地域交流や生活・就職支援等の行う拠点整備の支援。(10拠点)

● フォローアップ等の実施 6百万円(7百万円)

国費外国人留学生等のフォローアップを実施、ネットワークの強化

● 就職支援の充実 0.3億円(0.3億円)

外国人留学生就職指導ガイダンスの開催、就活ガイド作成等

<重点地域>

東南アジア(ASEAN)、ロシア、
アフリカ、中東、南西アジア、東
アジア、南米、米国、中東欧

2. 留学生宿舎の現状

留学生宿舎の状況(平成25年5月1日現在)

A. 学校が設置する留学生宿舎 20,687人

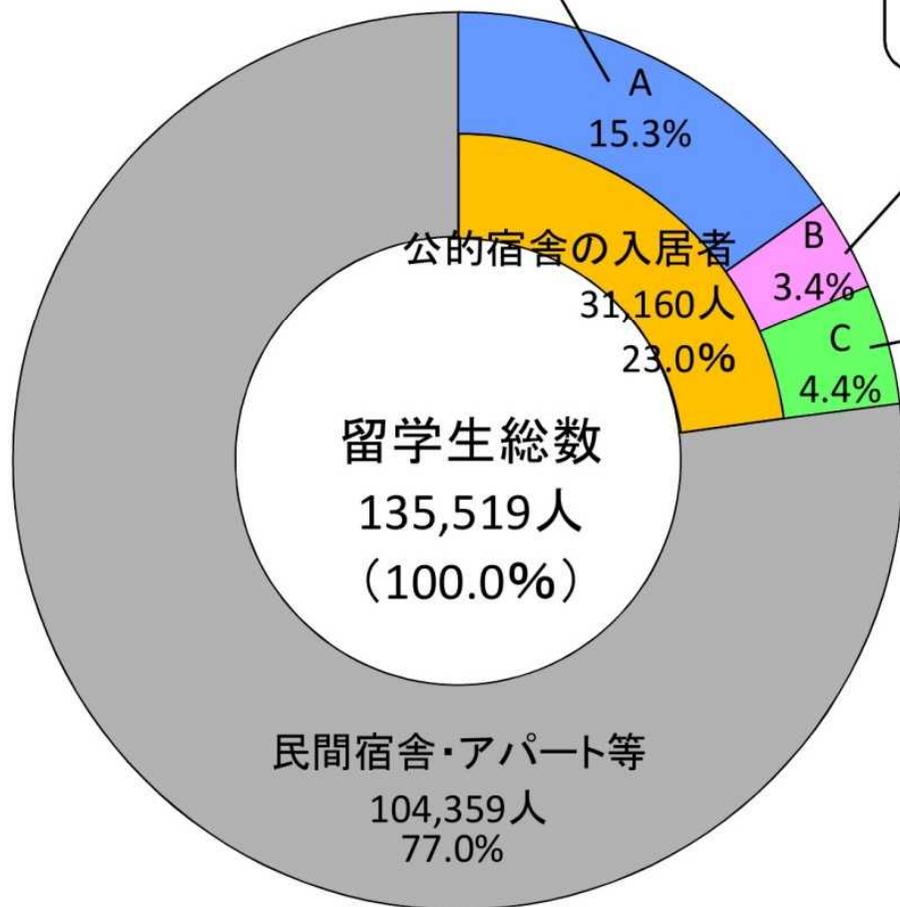
国立大学等	83校	9,500人
公立大学等	27校	708人
私立大学等	304校	10,479人

B. 公益法人が設置する留学生宿舎 4,571人

日本学生支援機構設置留学生宿舎	918人
地方公共団体設置留学生宿舎	771人
公益法人設置留学生宿舎	968人
公営住宅等	1,422人
民間企業の社員寮	492人

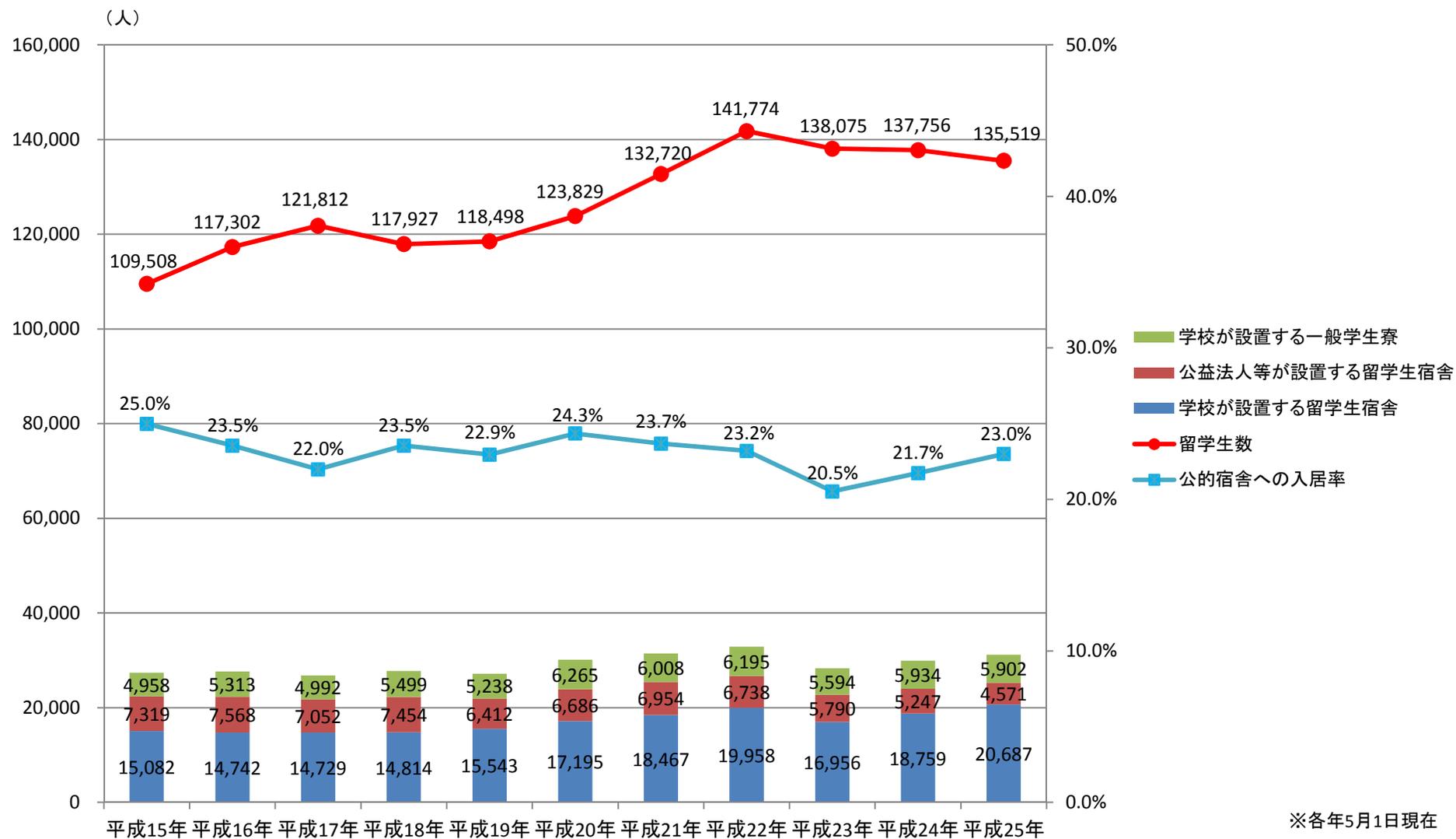
C. 学校が設置する一般学生寮 5,902人

国立大学等	104校	3,251人
公立大学等	10校	205人
私立大学等	233校	2,446人



※平成25年度外国人留学生在籍状況調査結果((独)日本学生支援機構)

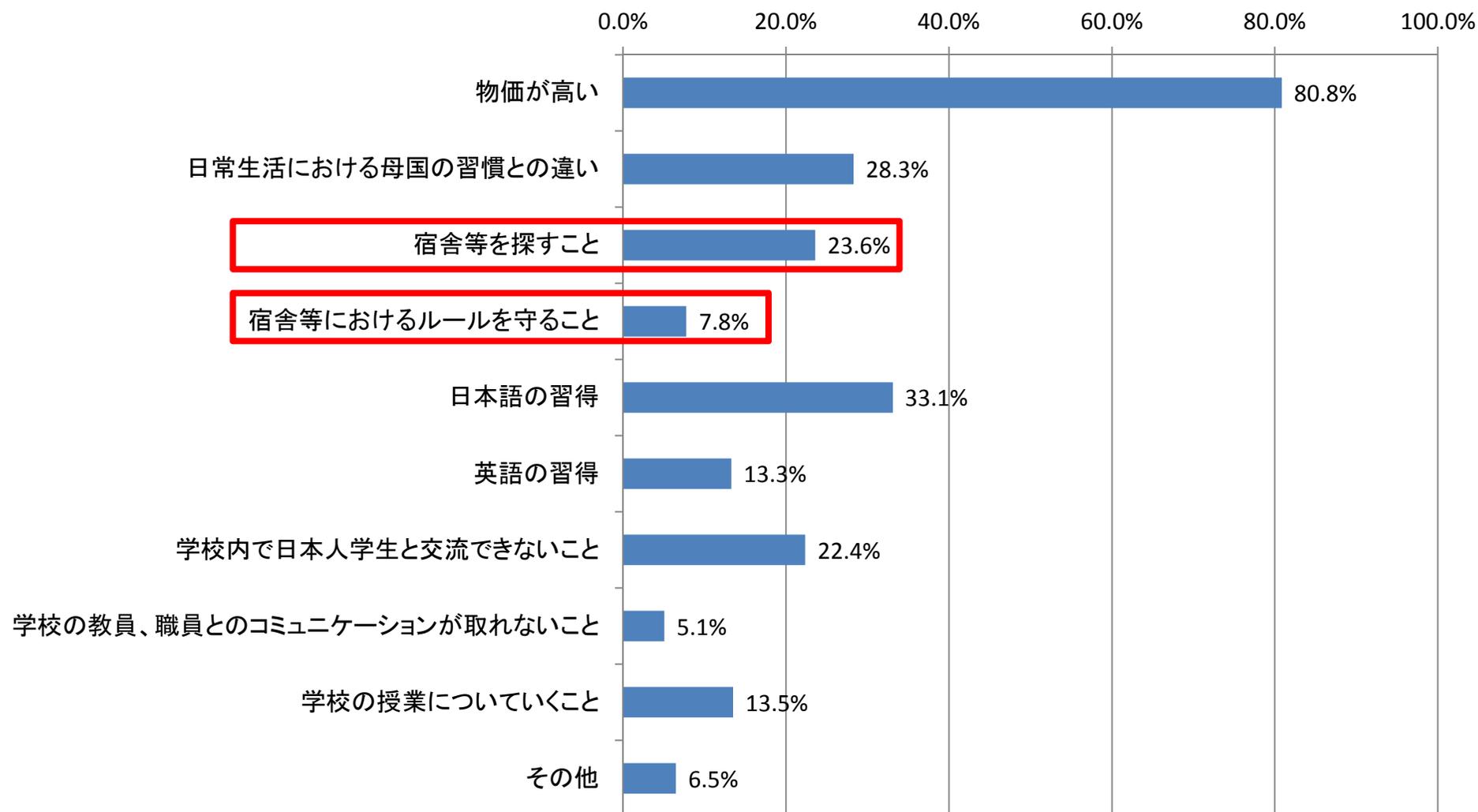
大学等の公的な留学生宿舎への入居状況



日本留学にあたっての苦労等(1)

留学後の苦労

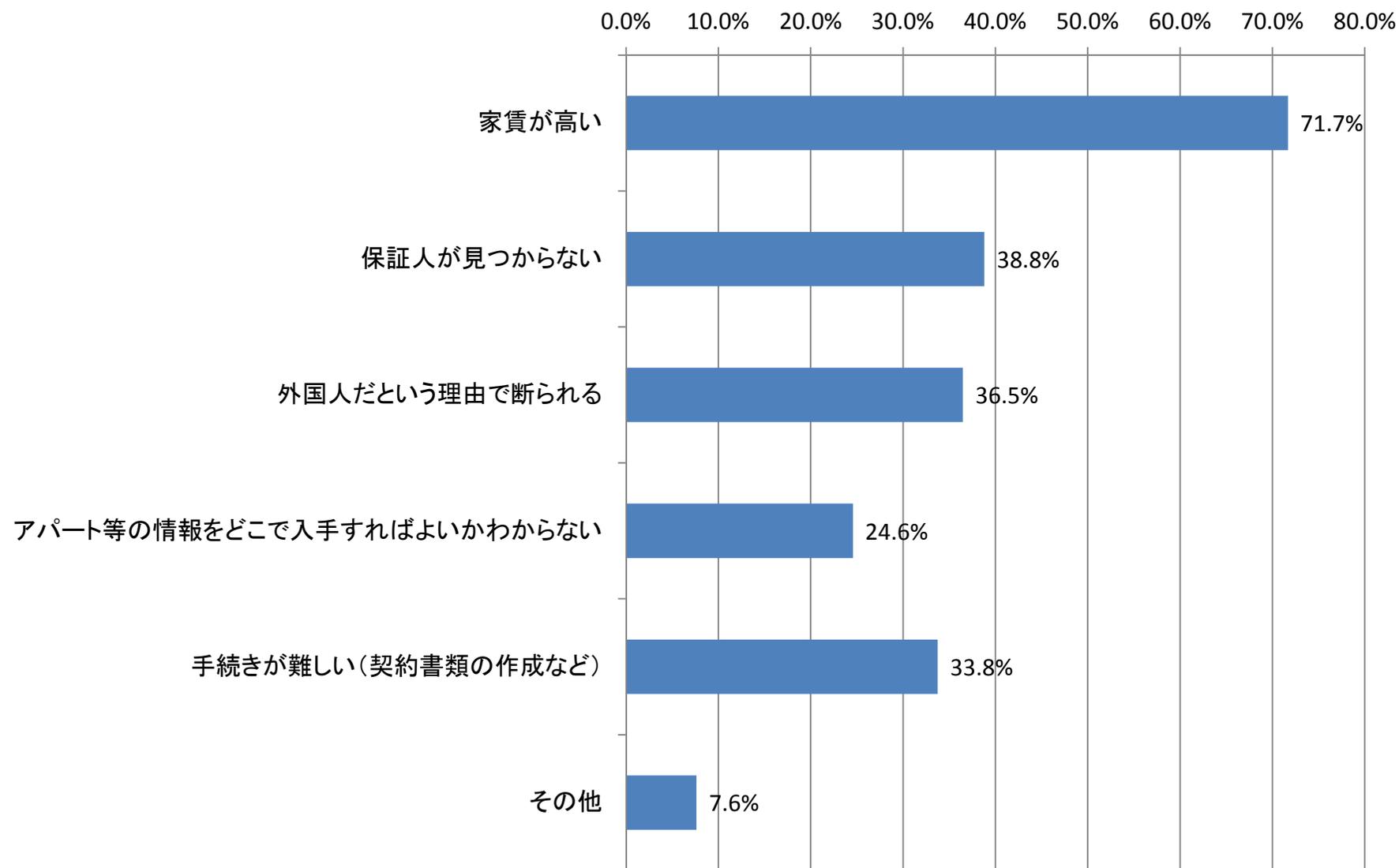
n=6,193、複数回答可



日本留学にあたっての苦労等(2)

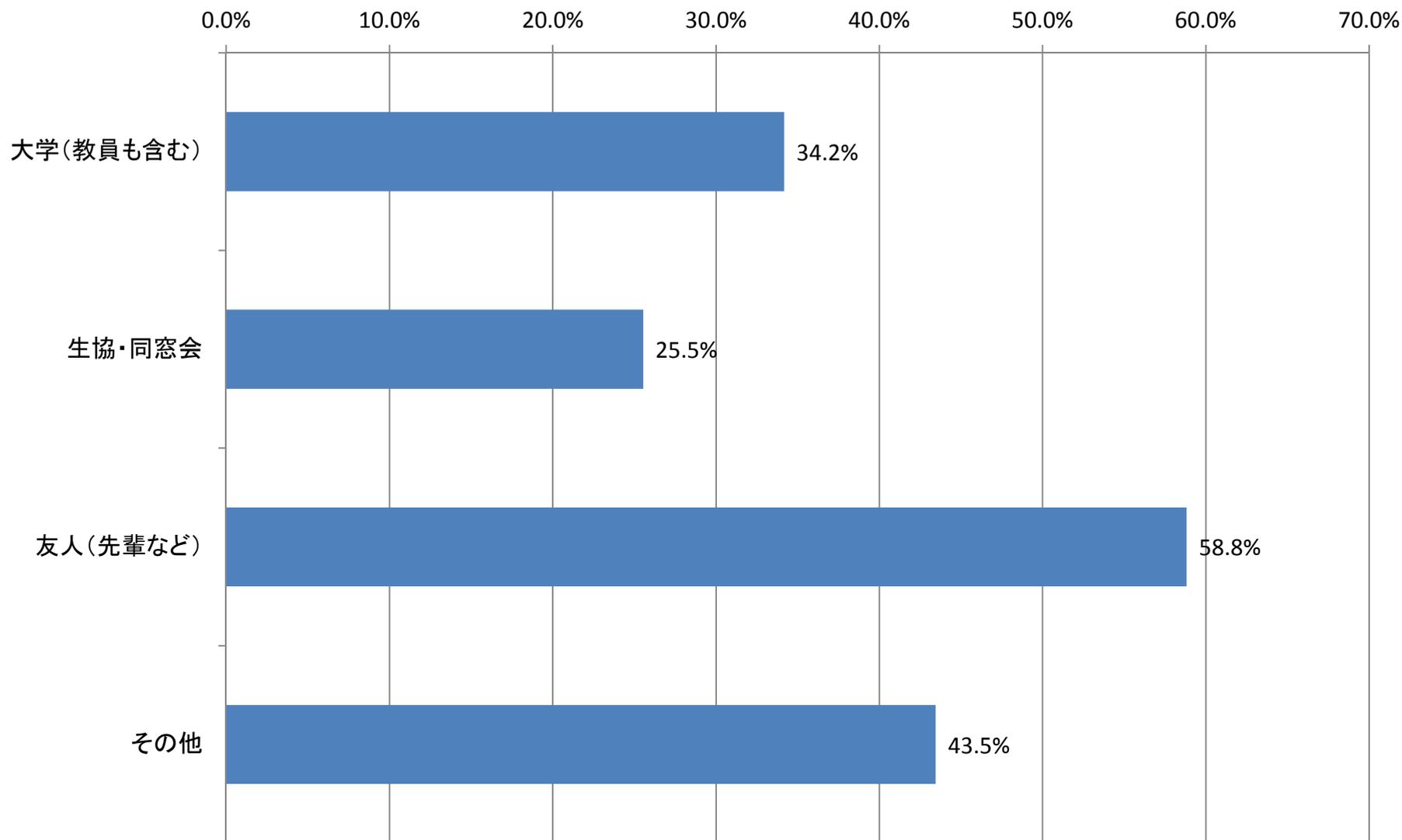
民間アパート等に入居する際に困ったこと

n=6,929、複数回答可



民間アパート等の紹介者

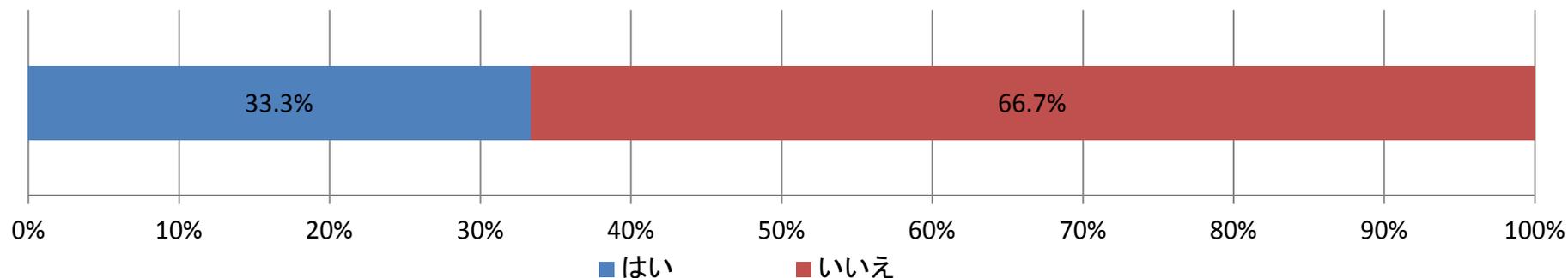
n=6,929、複数回答可



大学宿舎への入居希望

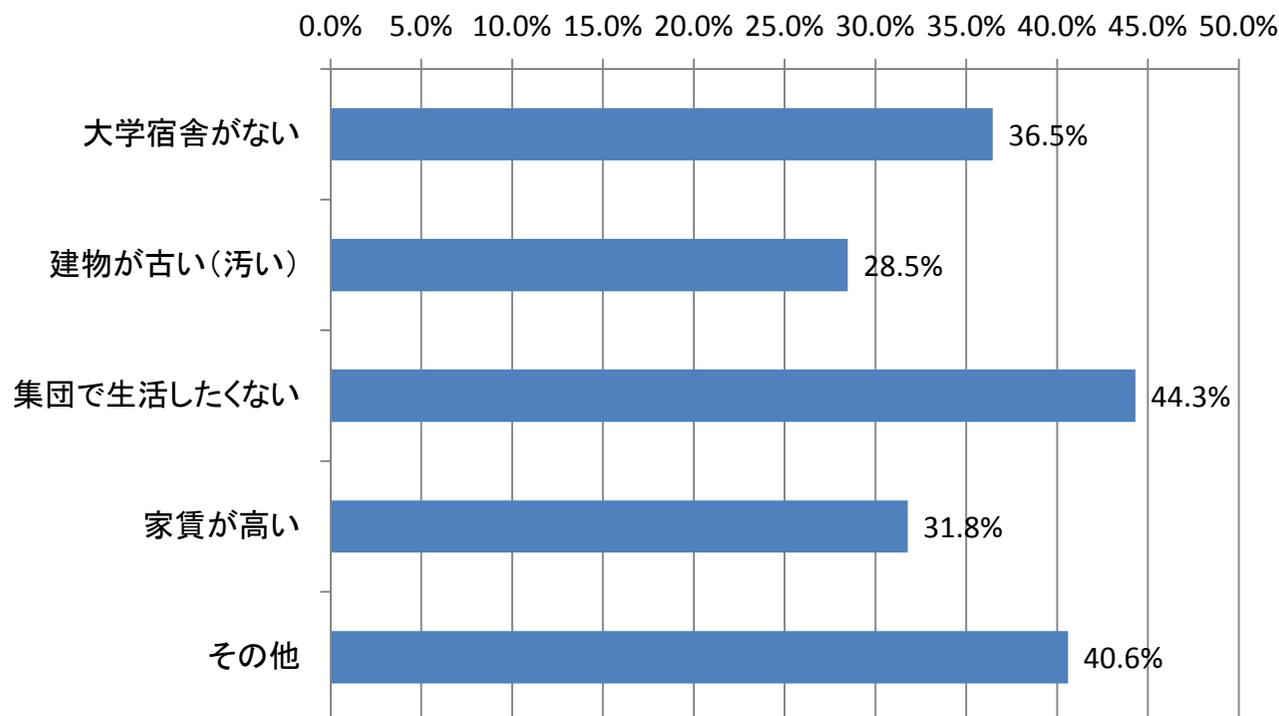
(現在民間アパート等に入居している者について)大学宿舎への入居を希望したか

n=6,874

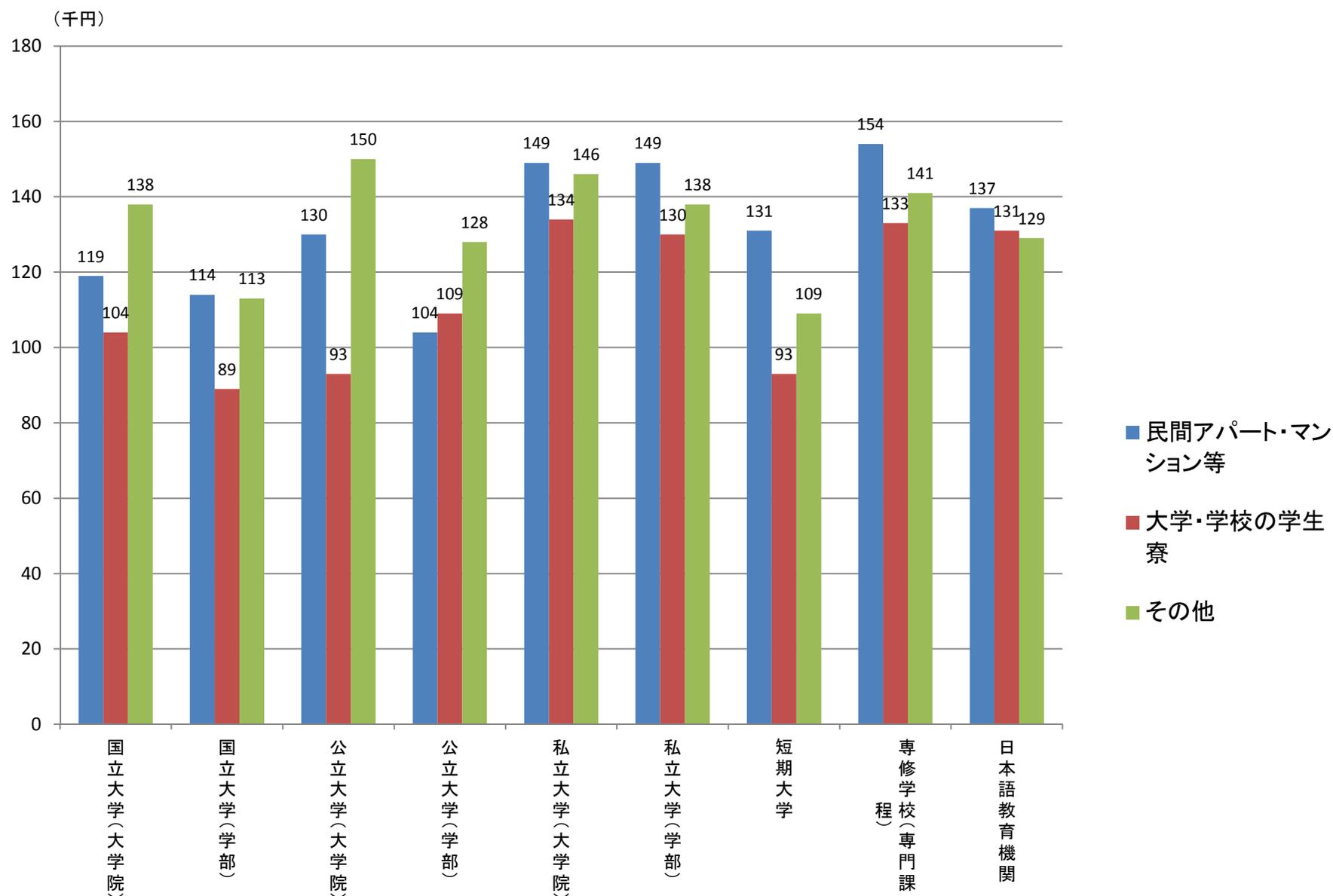


大学宿舎への入居を希望しなかった理由

n=4,584、複数回答可

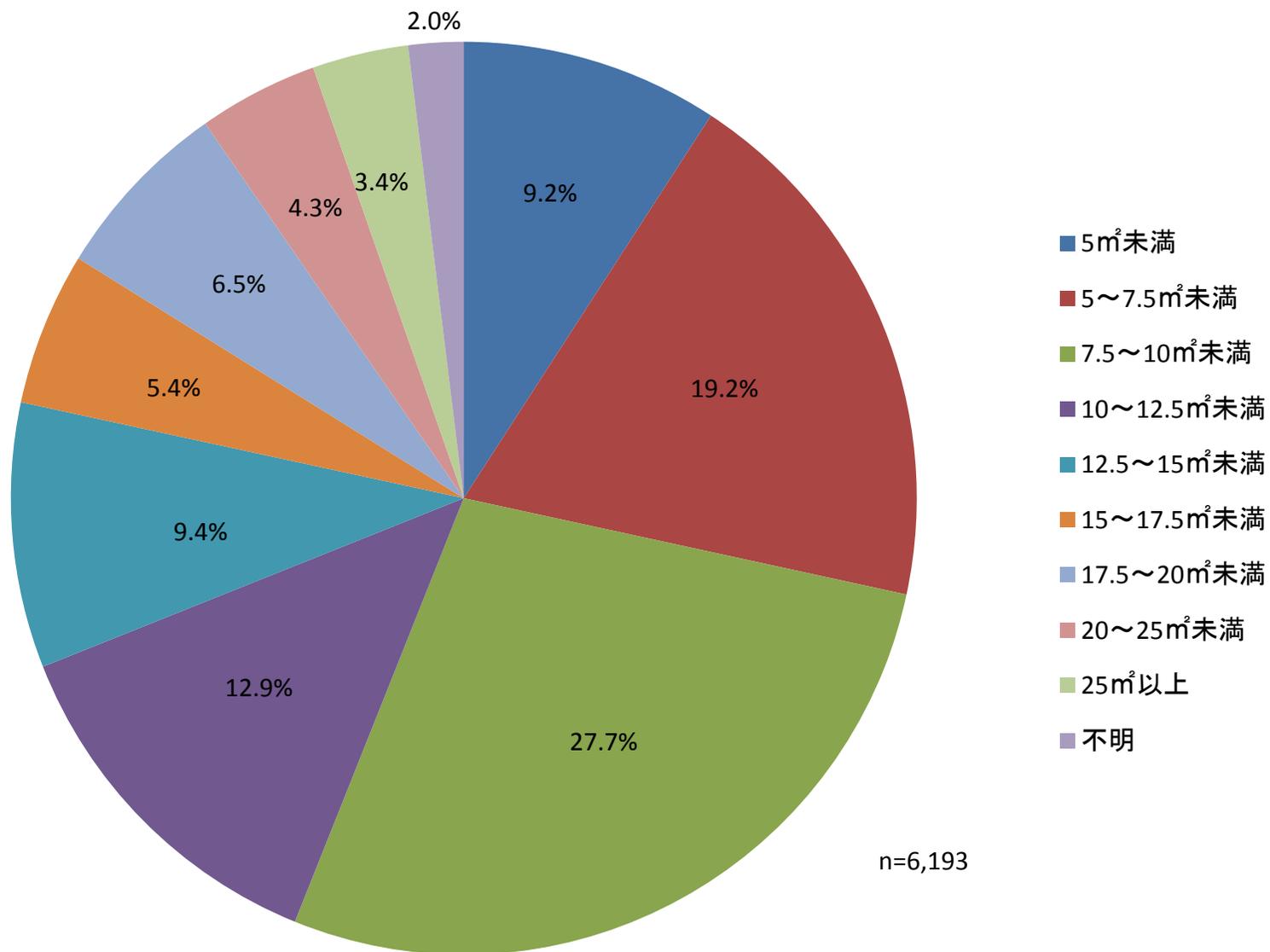


宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額

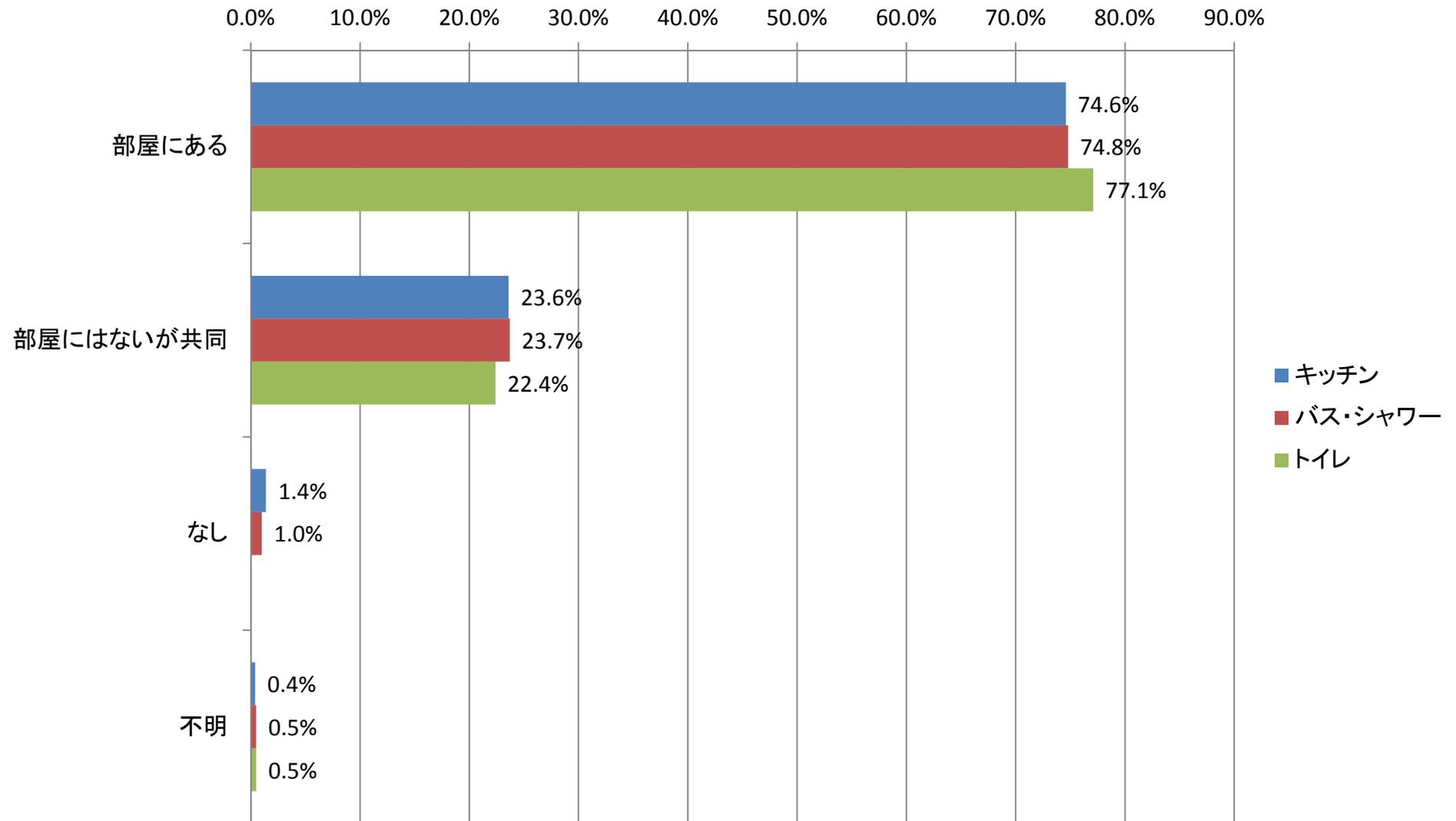


※平成23年度私費外国人留学生生活実態調査((独)日本学生支援機構)

1人当たりの占有面積

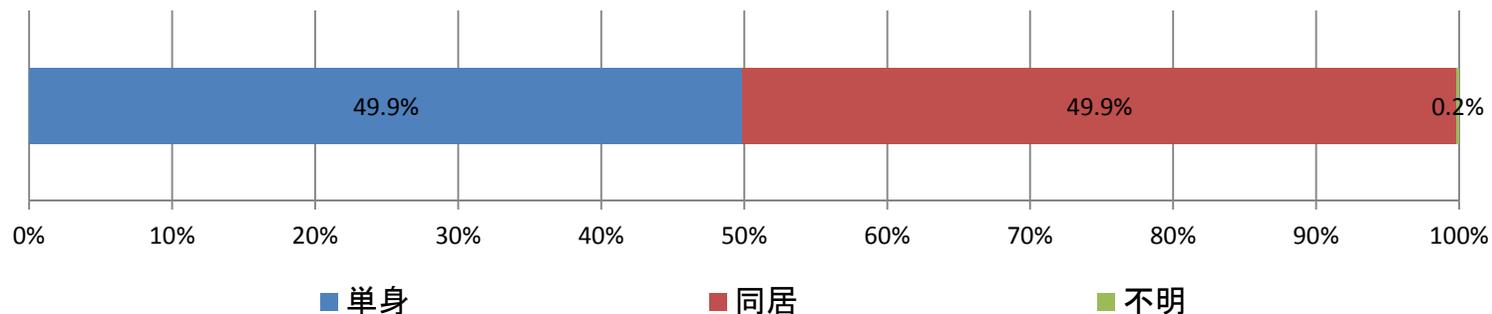


部屋の設備

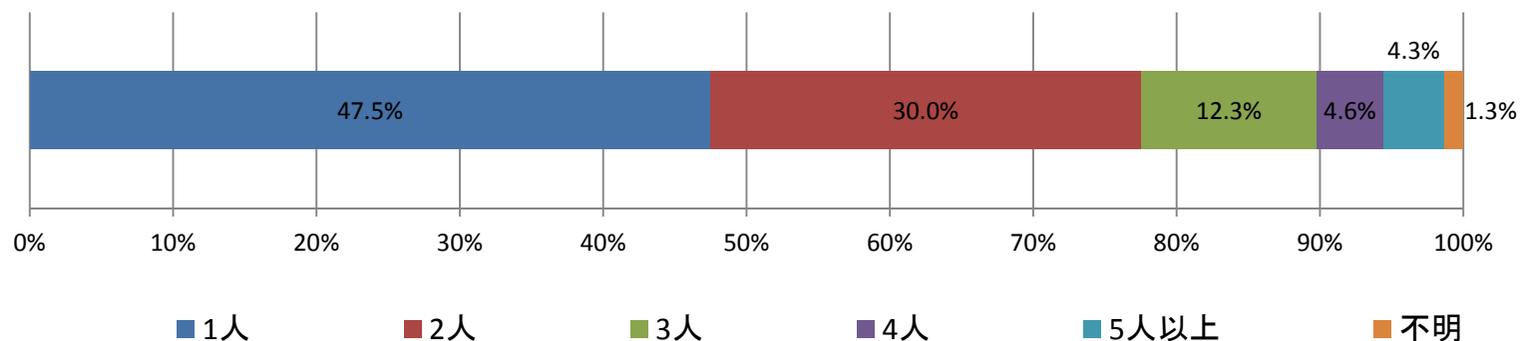


同居の状況(1)

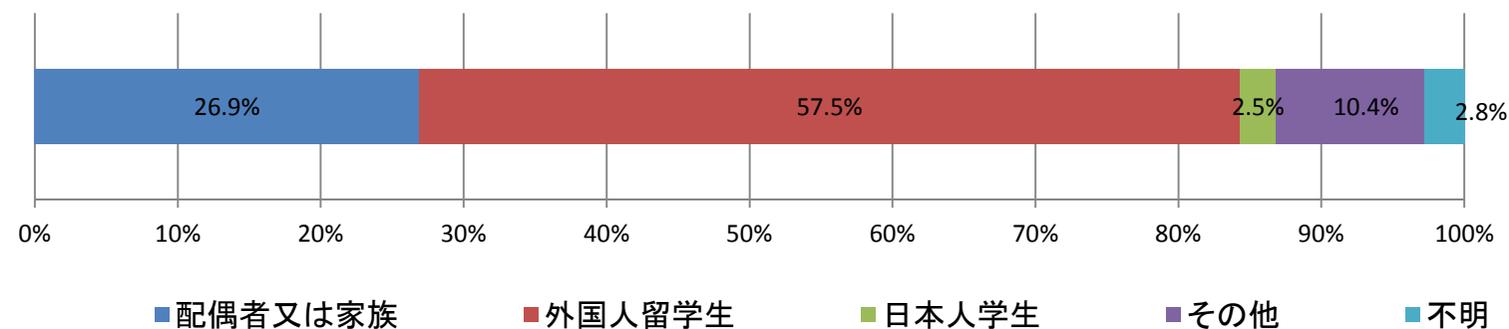
同居人の有無



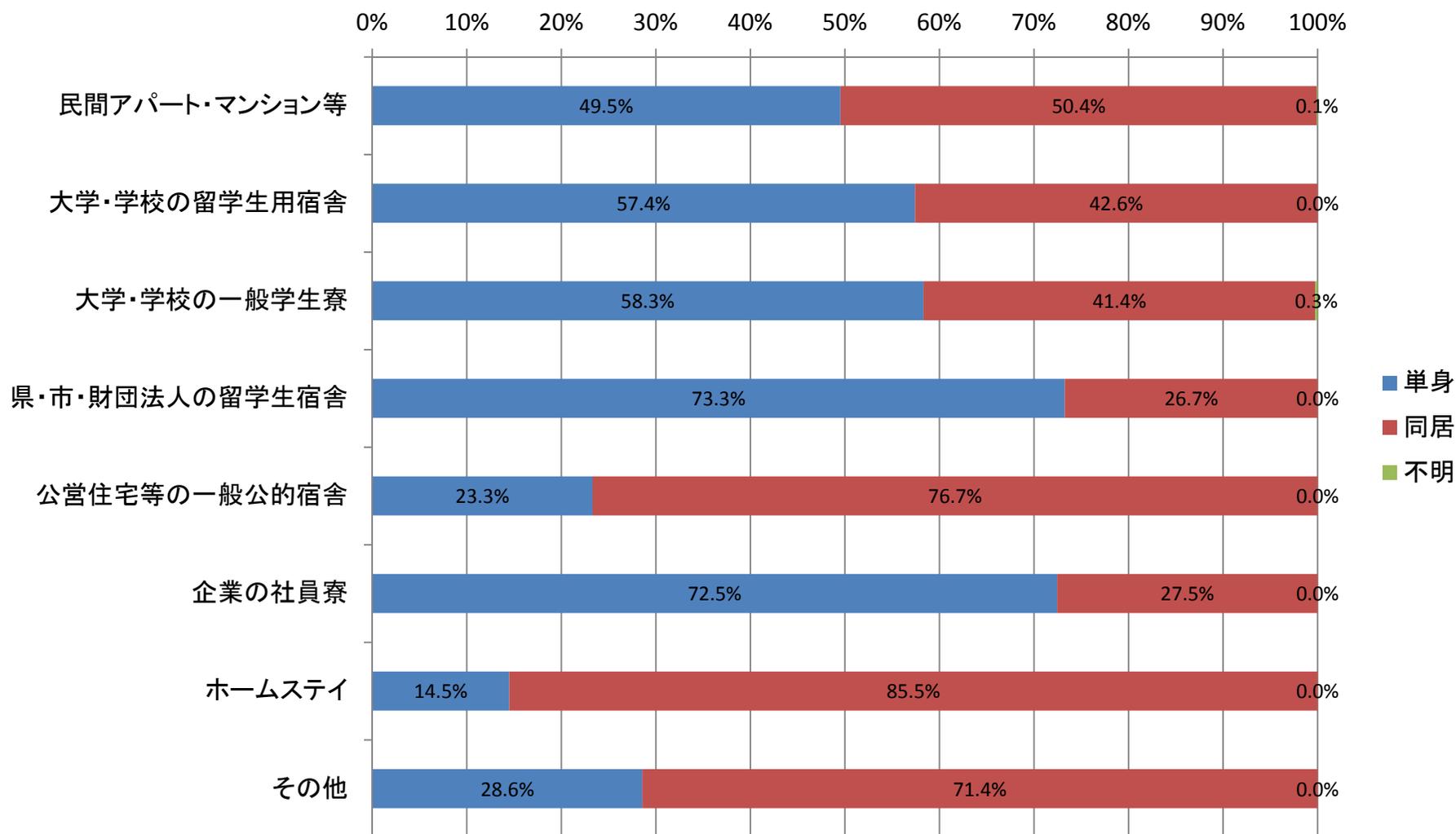
同居人の数



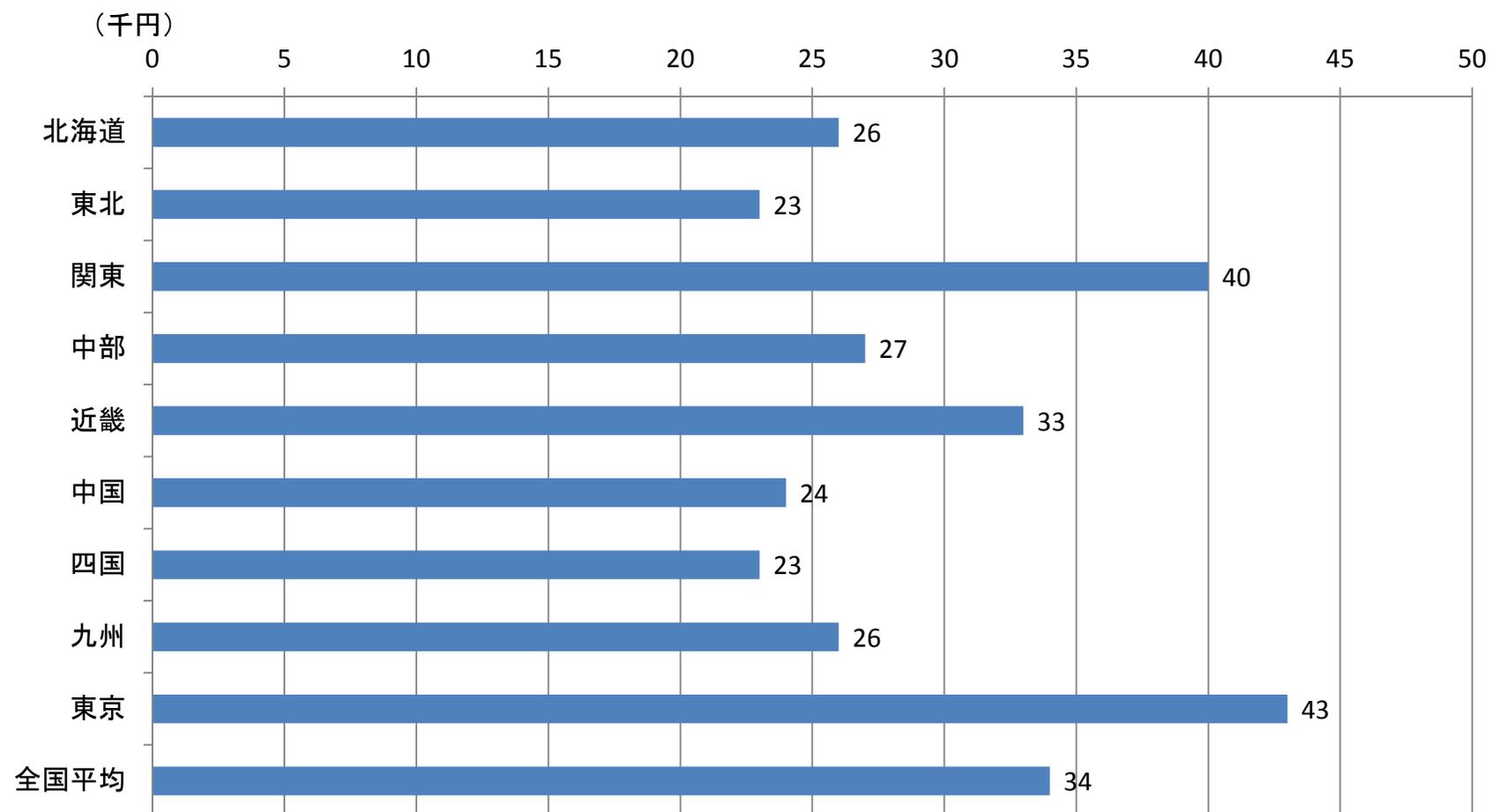
同居人の種類



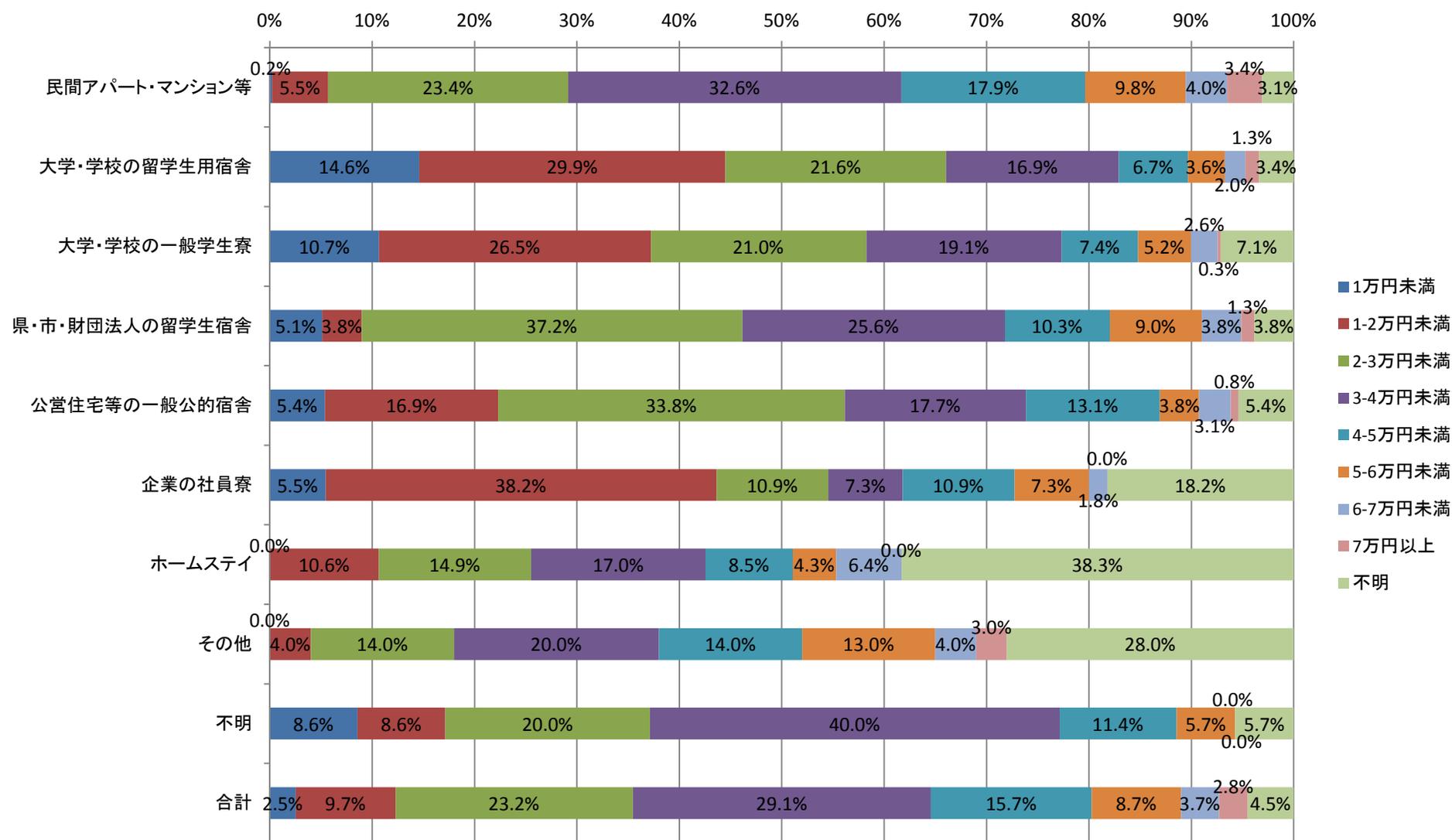
同居の状況(2)



居住地域別の住居費(平均月額)

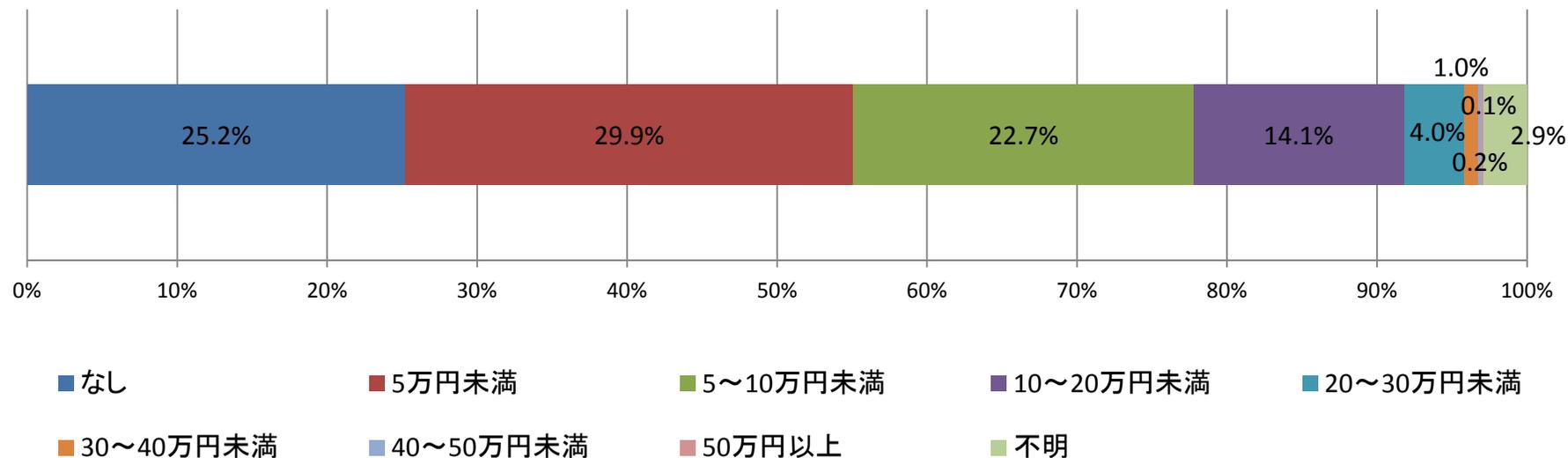


宿舎の形態別の住居費

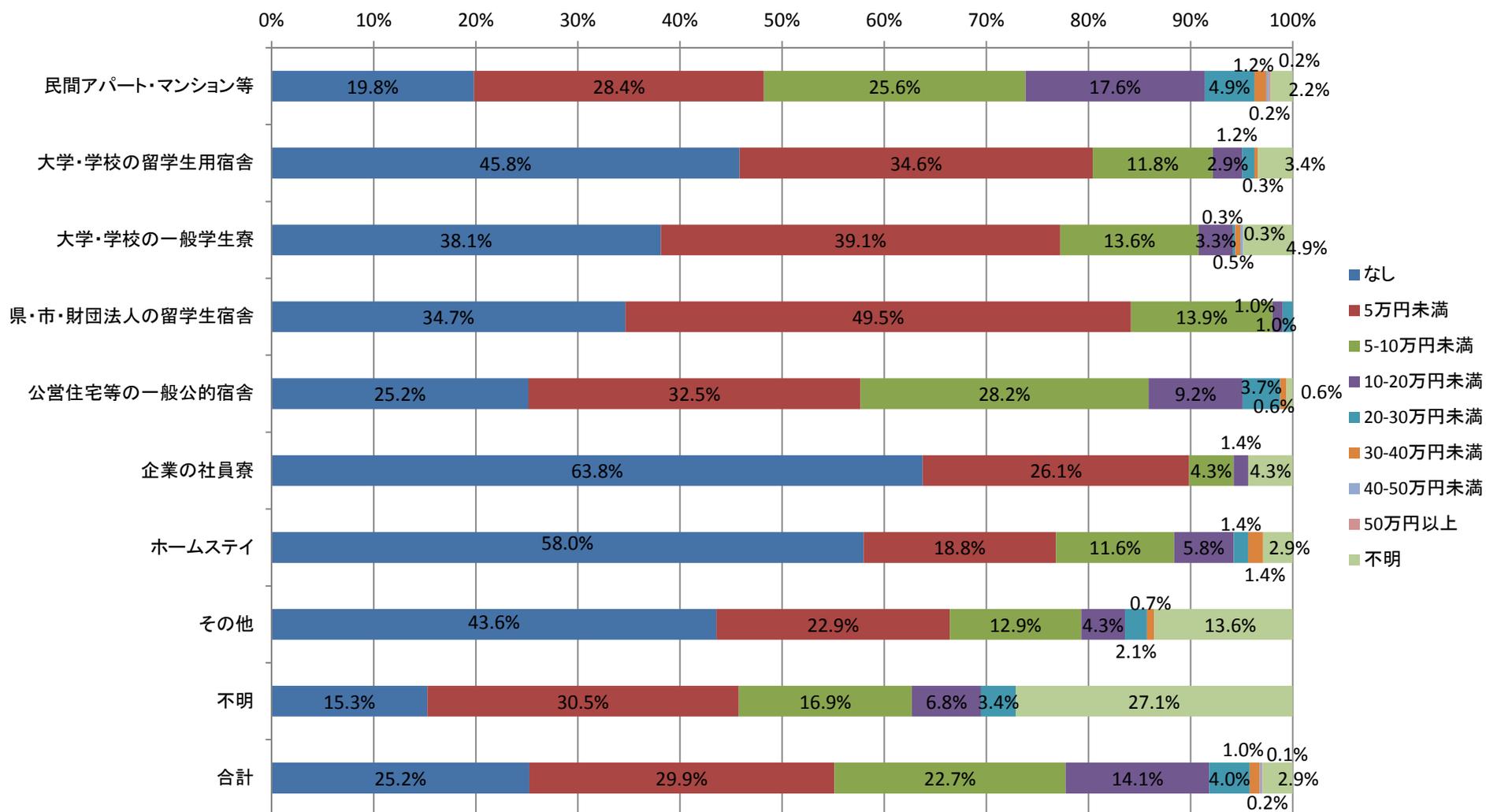


※平成23年度私費外国人留学生生活実態調査((独)日本学生支援機構)

宿舎入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額

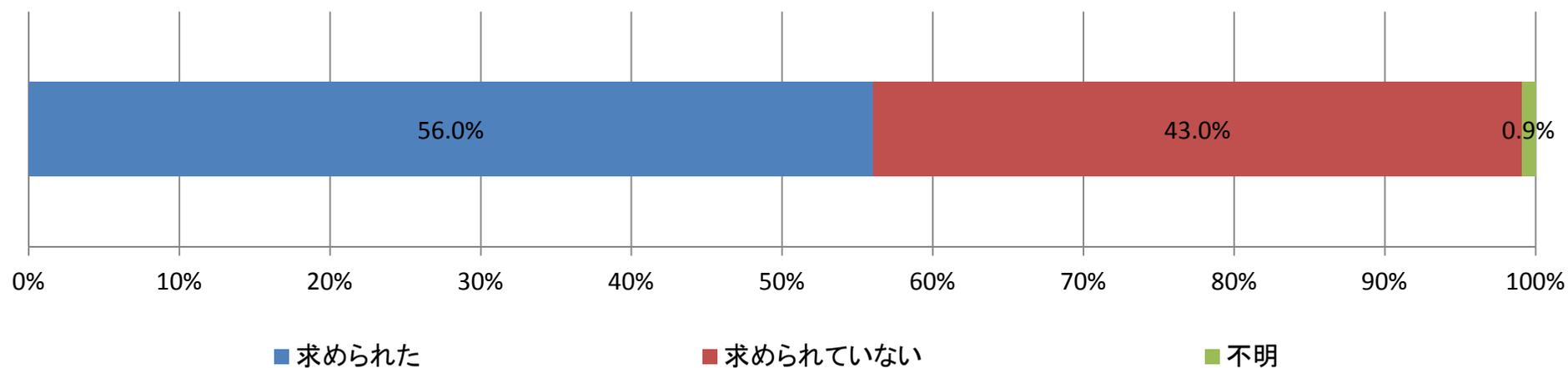


宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等

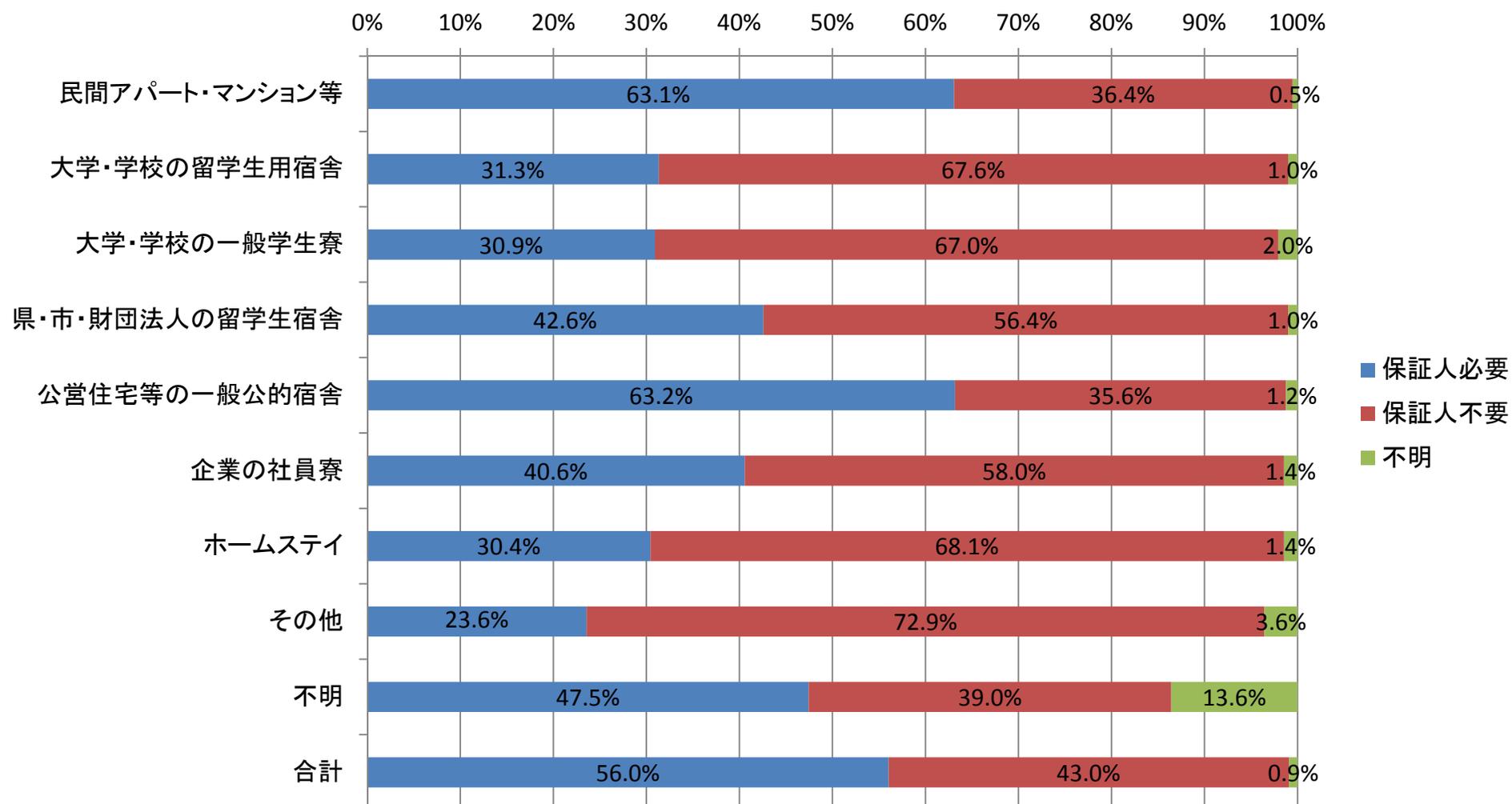


※平成23年度私費外国人留学生生活実態調査((独)日本学生支援機構)

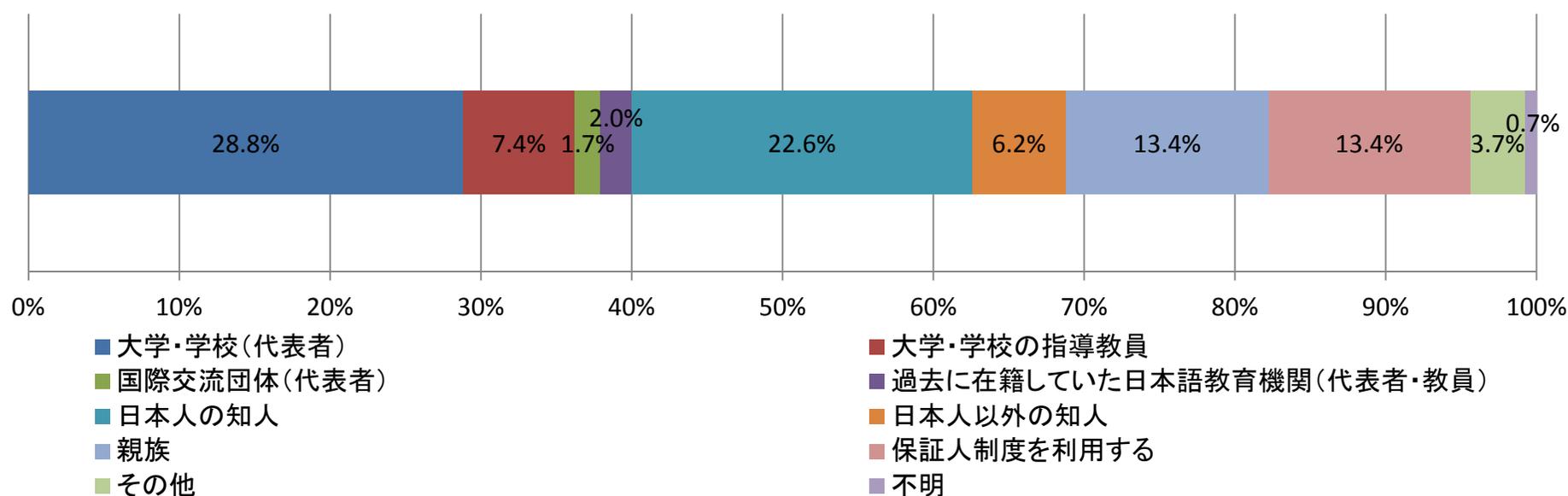
宿舎に入居の際の保証人の要否



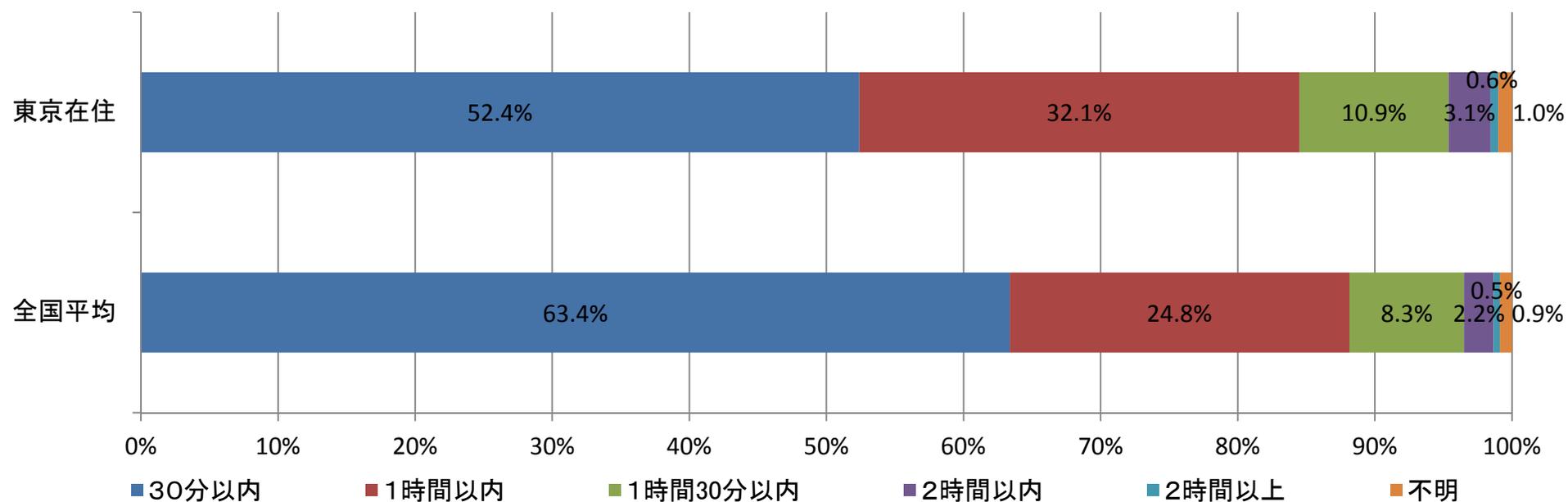
宿舎の形態別の保証人の要否



宿舎の保証人の種類



学校までの所要通学時間



3. 大学における取組事例

大学の国際寮(1)

都道府県	設置区分	大学名	寮の名称	設置年度	収容定員	居住形式	内容
宮城県	国立	東北大学	ユニバーシティ・ハウス三条	2007	416	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 国際化をけん引できる人材の育成を目的に、8つの個室と共同利用部分であるオープンリビングからなるユニット構成で共同生活を行う。 日本人学生286名、外国人留学生130名とそれぞれ定員を設定。入居対象は同大学の新生入(転・編入学を含む)、外国人留学生で入居期間は1年間に限る。 ハウスの管理はアウトソーシング。 2013年には大学院生が入居する国際寮として、ユニバーシティ・ハウス片平(4月)とユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ(10月)の2棟を開寮。
東京都	国立	お茶の水女子大学	お茶大SCC	2011	50	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 5人のハウスメンバーが支えあうとともに、他のハウスメンバーや寮の人たちとコミュニケーションをとるきっかけになるようなプログラム「交流プログラム」を用意。
神奈川県	国立	横浜国立大学	峰沢国際交流会館	1992	333	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 一般学生と外国人留学生とが起居を共にして、その体験的な国際交流を通じて相互理解を深めることが目的。 学部・大学院が対象で、定員は日本人学生222名、外国人留学生111名。 個室以外に、共用施設として、入浴施設、補食室、洗濯室などを設置。
			大岡インターナショナルレジデンス	2010	311	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> 入居者同士の国際交流の活性化をテーマとした、学生・研究者及び職員のための異文化共生ハウス。 学生用252戸、研究者23戸、教職員用36戸を備え、館内には入居者全員が利用できるカルチャーホール、留学生/日本人学生用の共同キッチンなどが設けられ、食事や勉強、他の居住者との交流の場として全入居者が利用可能。季節のイベントや文化交流パーティーも開催している。
石川県	国立	金沢大学	学生留学生宿舎先魁	2012	104	ルームシェア	<ul style="list-style-type: none"> 民間資金を活用し、交流ホール棟と住宅棟5棟を整備。
福井県	国立	福井大学	福井大学国際交流学生宿舎	2000～2002	209	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することが目的。2000～2002年にかけて3棟を整備。 共同施設はシャワー室、ランドリー、多目的ホール。
静岡県	国立	静岡大学	あけぼの寮	2010	91	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> 日本人女子学生と外国人留学生が生活を通じて相互理解を深めるための寄宿舎。 収容定員は日本人女子46名、外国人留学生(男女)45名。 1、2Fは外国人留学生男子、3～5Fは外国人留学生女子と日本人女子が入居する個室タイプ。
愛知県	国立	名古屋大学	国際嚶鳴館	2002	300	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生と外国人留学生が共同生活を通じて相互理解を深めるための場として、従来の嚶鳴館を2002年に国際嚶鳴館とリニューアル。入居期間は原則1年間。
大阪府	国立	大阪大学	清明寮(男子寮)	2013	清明寮(152)	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪大学未来戦略(2012-2015)」を掲げ、グローバルキャンパスの早期実現を目指し、「日本人学生寮の留学生混住化計画」を進行中。日常的に留学生と交流することで、日本に居ながらにして異文化交流ができ、留学生にとっても早期に日本社会に順応することができると考えている。 留学生混住化年次計画に沿って、既存の日本人学生寮を改修中。清明寮は2013年から留学生との混住寮となっており、もみじ寮は2014年度、刀根山寮は2015年度、向陽寮は2016年度から混住寮とする予定。
			もみじ寮(女子寮)、刀根山寮(男子寮)、向陽寮(男子寮)	2014～2016	もみじ寮(200)、刀根山寮(142)、向陽寮(104)	個室+居室以外共用	
兵庫県	国立	神戸大学	住吉国際学生宿舎(男子・女子寮)	1997	136	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と外国人留学生の混住寮。国際的な交流を期待している。 個室以外に、談話室、キッチン、洗濯室などの共用部分を設置。
			白鷗寮(男子・女子寮)	2001～2002(改修)	264	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 神戸商船大学に1954年に設置された日本人学生と留学生の混住寮。2001～2002年に改修、2003年に神戸大学に統合された。 4つの個室と共用スペース(談話室、キッチン、浴室、洗面所等)を1ユニットとして共同生活を行う。
			国維寮(男子・女子寮)	2011(改修)	134	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> 日本人専用の寮だったが、2011年に留学生との混住寮に整備するため、改修工事を行った。
愛媛県	国立	愛媛大学	御幸学生宿舎	2011	472	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 共同生活を通じて社会性の発揮を助長することを目的として設置され、2011年3月末にリニューアル工事完了。 1Fにフードコーナー(食事及び売店)、2Fに多目的集会室を設け、居室は個室(男子225室、女子177室、留学生70室)を備えている。

大学の国際寮(2)

都道府県	設置区分	大学名	寮の名称	設置年度	収容定員	居住形式	内容
福岡県	国立	九州大学	ドミトリーⅠ	2006	254	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアを軸に世界各地と連携するキャンパス像の実現に向け、新キャンパス統合移転事業と併せて、新キャンパスの伊都キャンパスに、日本人学生、留学生のための2つの学生寮(ドミトリーⅠ、ドミトリーⅡ)を整備してきた。2014年に「ドミトリーⅢ」と「国際村」を整備する。 ・ドミトリーⅠは完全個室型、ドミトリーⅡは、単身・世帯用個室、2人ルームシェア型。新しくできるドミトリーⅢは1ユニット(4つの個室とキッチン、リビング共有)×34ユニットのシェア型寮に、日本人学生と留学生が混在する。日本人学生が留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材を養成する。 ・寮の運営はアウトソーシング。
			ドミトリーⅡ	2008	282	完全個室 ルームシェア	
			ドミトリーⅢ	2014	136	個室+居室以外共用	
福岡県	国立	九州工業大学	九州工業大学明専寮	2013	50	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・寮の教育の中心にするという開学以来の全寮制の良さを見直し、老朽化で廃寮になっていた明専寮を、申請「明専寮」として再出発。 ・寮を第2の教育の場と捉え、寮における共同生活を通じて、グローバルリーダーとしての「技術に堪能なる士君子」の素養を育むため、「グローバルリーダー教養教育」「主体的イベント企画」「英語特別教育」等の寮内教育プログラムを実施。 ・入寮対象者は工学部1年生(国費・私費外国人留学生を含む)、入寮期間は1年間。寄宿料は月額1万5000円(光熱水費4000円が別途必要)。
秋田県	公立	国際教養大学	こまち寮	2004	370	ルームシェア	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの居室(1部屋を2人で利用)と共用部分で構成。 ・入学後の1年間全員が入寮。日本人学生が一定期間、留学生と同室になるようにしている。 ・卒業までに最低1年間の留学が必須。「数年後に留学したときのための訓練」としての機能も果たしている。
東京都	公立	首都大学東京	桜都寮	2005	84	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生活を通じて学生同士が切磋琢磨し、個性や独創性を刺激しながら人間形成を行うことを目的とした新しい形の「寮」(桜都寮)を設置。 ・寮長や上級生との交流・対話による人間形成やアジアの留学生との交流による異文化交流を目指している。 ・1ユニット(6室)で共用(ユーティリティコーナー、洗面所、トイレ)。
福岡県	公立	福岡女子大学	国際学友寮なでしこ	2011	340	個室+居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに活躍する“次代の女性リーダーを育成”を目的として設立。 ・基本的に1ユニット(4DK)に日本人学生3人と留学生1人が共同生活を行う。 ・初年次の1年間は全寮制教育を実施。 ・月額1万5000円(光熱費含。近隣の賃貸物件の約3分の1)

大学の国際寮(3)

都道府県	設置区分	大学名	寮の名称	設置年度	収容定員	居住形式	内容
千葉県	私立	麗澤大学	グローバル・ドミトリー	2013	150	個室十居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・“Global Learning Community”(国際的な「学び」の共同体)の形成をコンセプトに、「グローバル・ドミトリー」と命名。 ・外国人と日本人の共住(部屋は個室)により多文化を体験し、生活レベルの切磋琢磨を経て人格形成と社会人基礎力養成に寄与。 ・学生の自主企画による学習会や大学主催のセミナー等によって多彩な「学び」を提供。
東京都	私立	青山学院大学	スクーンメーカー寮	1966	94	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷キャンパスに開設された女子寮で、2003年に相模原キャンパスに移転された。 ・第2部を除く新1年生と留学生が一緒に生活しており、国などの境を越えた交流を持つことができる。
東京都	私立	桜美林大学	国際寮	2010	245	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生の受入れと、建学理念である国際的人材の育成を主眼に、留学生と日本人学生が入居し、学校にいる間だけでなく、生活の場においても国際交流を図れるようにした。 ・レジデント・アシスタントを中心に、学生の自主的な管理運営を目指し、イベント部会、カルチャー部会、パブリシティ部会の3部会が活動を行っている。また学生が窓口業務など、アルバイトとしても寮で働いている。
東京都	私立	慶應義塾大学	大森学生寮	2009	127	個室十居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・慶應義塾大学の専用宿舎。日本全国から集まる新入生だけでなく、世界各国からの留学生も入居するので、寮生活は日常的な国際交流の場となり、寮生同士が、助けあい、学びあうことで、視野・見聞が広がり、自分を高めることができる。 ・各寮の運営はアウトソーシング。
			網島学生寮	2012	124	完全個室	
			元住吉宿舎	2013	230	完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・4・5Fに慶應義塾の留学生が入居し、6F以上に日本人学生が入居。 ・活発な国際交流を通じて未来のグローバルリーダーの輩出を目指す。 ・寮の運営はアウトソーシング。
			未来創造塾	2015	650	ルームシェア 個室十居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・SFC開設25周年を機に、留学生の受入れ拡大、キャンパスの国際化の中心的位置付けとなる仕組みとして、大規模滞在型教育研究施設を開設。 ・SFC入学者全員に宿泊滞在型授業を経験させる。外国人留学生や社会人との混在型滞在施設の中で、協創型滞在プログラムを実施。 ・宿泊施設は4人室及び1人室の2つを用意。
東京都	私立	国際基督教大学	男子寮2棟(第2男子寮・カナダハウス)、女子寮3棟(第2女子寮・第3女子寮、第4女子寮)、男女共住寮4棟(グローバルハウス・樺寮・銀杏寮・櫻寮)	1956～2011	600	ルームシェア	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生活をリベラルアーツ教育の一部と位置づけ、キャンパス内に9棟の学部学生寮を持つ。学部5寮(1956～1964年建築、以下同)とグローバルハウス(2001年)には1～4年生が入居。新しくできた樺寮(2010年)、銀杏寮(2010年)、櫻寮(2011年)には、主に学部1～2年生が入居。 ・収容定員は全学生の1/4に当たる600名。外国籍留学生も多く居住。 ・完全個室のグローバルハウスを除き、居室は原則2人1部屋。他者との対話の機会、さらに共同生活での摩擦を解決する過程を多く経験させることが狙い。 ・寮内の運営は寮生同士が毎日行う寮会で議論し決定、意見をまとめ、ルール改善が必要な場合は大学側と交渉。
東京都	私立	芝浦工業大学	国際学生寮	2013	120	個室十居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・文化交流と共同生活を通じた、国際感覚と人間力を持った人材の育成と、地方出身者の経済的負担の軽減を目的に大宮キャンパス内に設置。 ・居室は個室だが、建物2～5Fの各フロア中央に配置したコミュニケーション空間「コモンルーム/シェアキッチン」で食を通じた文化交流を行う。 ・グローバルプラザ、ミーティングルーム、ラウンジなど、国際交流の拠点としての多目的スペースを多く設置。 ・工学女子向けに女子のみの1フロア用意。セキュリティ機器も設置。
東京都	私立	上智大学	葛西インターナショナル・ハウス	2011	38	個室十居室以外共用	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年に国際交流寮としてリニューアル。留学生と日本人学生の自然な国際交流推進を目的とした、自炊タイプの女子学生寮。 ・寮の運営はアウトソーシング。 ・完全個室38室と、キッチン、ダイニング、バスなどの共用部分を用意。キッチンコーナーでは多人数が同時に調理でき、隣のダイニングルームで仲間といろいろな「食」を楽しめる。
			上智大学祖師谷国際交流会館	2012	単身用居室(320室) 夫婦用居室(32室)、家族用居室(10室)	個室十居室以外共用 完全個室	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構(JASSO)が所有していた祖師谷国際交流会館を購入し、2012年4月から上智大学専用施設として運用を開始。 ・多文化・多言語環境の中での共同生活を通じた人間的成長を促す「インターナショナルハウス」として位置づけ、外国人留学生を中心に、遠方出身の日本人学生が共住する。 ・単身棟のほか、夫婦棟、家族棟がある。

大学の国際寮(4)

都道府県	設置区分	大学名	寮の名称	設置年度	収容定員	居住形式	内容
東京都	私立	立教大学	立教大学国際寮 (RUID朝霞台)	2008	138	個室+居室 以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 立教大学の学生専用と交換留学生も入居する国際交流を目的とした寮。 各寮の運営はアウトソーシング。
			立教大学国際寮 (RUID志木)	2010	126	個室+居室 以外共用	
			立教大学国際寮 (RIR椎名町)	2013	70	完全個室	
東京都	私立	中央大学	国際寮	2011	りえんと多 摩平244 号棟(64)	個室+居室 以外共用	<ul style="list-style-type: none"> 2つの異なるタイプの国際寮を運営。「りえんと多摩平244号棟」は1ユニット(3つの個室と共有スペース)に日本人・私費留学生・交換留学生の3人が共同生活するルームシェア型。「聖蹟桜ヶ丘」はプライベートを重視した1ルーム型。 どちらもキャンパス外の物件を中央大学専用の国際寮として借り上げ、月に1回、国際センターのスタッフが訪問する。多摩平寮には、寮長、階段リーダーなどのリーダー5名を配置。
					聖蹟桜ヶ 丘(94)	個室+居室 以外共用	
			未定	未定	500~600	未定	上記の2つの国際寮をパイロットケースとして3年間運営・検証した結果、今後は多摩キャンパス敷地内に大規模の国際寮建設を検討中。
東京都	私立	東京理科大学	葛飾国際学生寮	2013	97	ルームシ ェア 個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生と外国人留学生が入居し、1棟の建物の中で共に生活していくことで学生の国際感覚を醸成。 ワンルームとシェアルーム(3人部屋)の両方に対応。 寮の運営はアウトソーシング。
東京都	私立	武蔵野美術大学	武蔵野美術大学 学生寮(仮称)	2014	58	個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生と外国人留学生との共同生活のスタイル。個室だが、アトリエルーム、食堂などは共有で使用。 日本人学生と外国人留学生のおおよその比率は、4~5:1 入居対象者は1~4年。1F10名は主として協定校の留学生が入居。2~3Fは女子学生のみ。
東京都	私立	明治大学	狛江インター ナショナルハウス	2011	145	個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> 日本全国から集まる新入生と、世界各国からの留学生が入居し、寮生活で日常的な国際交流を体験。学内において国や人種、文化や宗教の壁を超えた友情を育み、国際感覚を身につけることができる。 共用部分はダイニングルーム、コミュニケーションコーナー、メールボックス、ランドリールーム(男女別)など。
東京都	私立	早稲田大学	国際学生寮WISH	2014	900	個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> グローバルリーダー育成の新たな拠点として開設される「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」内に、4人1ユニットで共生する定員900名規模の国際学生寮を開設。 社会のニーズに応え得る人材となるため将来に必須となる能力を磨く「Social Intelligence(SI)プログラム」を実施し、全ての寮生に参加を義務づけ。 住み込みのハウスマスター(管理人)夫婦が寮生の寮生活をサポートするほか、RA(レジデント・アシスタント)と呼ばれる先輩寮生が寮での日常生活や勉強、課外活動等をサポート。
京都府	私立	立命館大学	立命館大学BKC インターナショナル ハウス	2012	150	個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> 「国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する」という学園憲章の理念を具体化。 教育・研究の国際化を進めるために、外国人留学生と日本人学生が共同生活を通じて国際交流を行うことを目的。 共同キッチンやラウンジなどが共用部分。
大阪府	私立	関西大学	南千里国際学生 寮	2012	144	個室+居 室以外共 用	<ul style="list-style-type: none"> 海外協定大学からの交換受入留学生が主な入寮対象者だが、学部・大学院の正規課程に在籍する留学生や日本人学生も入寮することができる。 寮では、111人の留学生と、23人の日本人学生が共同生活を行い、10人の日本人レジデンスアシスタントが留学生の日常生活をサポートしている。
大分県	私立	立命館ア ジア太平 洋大学	APハウス	2001	約1300	ルームシ ェア	<ul style="list-style-type: none"> 留学生と日本人学生の比率は約6:4。 2013年10月現在で世界56カ国・地域からの寮生が生活。 RA(レジデント・アシスタント)と呼ばれる学生が各フロアに2名合計64名配置され、寮生の生活のサポートプログラム作成などを行っている。

大学の取組事例(1)「お茶の水女子大学」

ともに住まい、ともに成長する新しい学生寮

お茶大SCCは人と人とのつながりを大切にする、新しいタイプの学生寮です。
小石川寮に隣接し、大学まで徒歩5分の好環境。
玄関を2つの建物で共有し、また、お茶大SCCの1階にある
ラウンジは2つの寮生が共同で使用します。
さまざまな出会いの中で、助け合い、協調しあい、ともに成長していく。
生活空間でありながら、キャンパスライフに寄り添うもう1つの学舎です。



2011年度 公益財団法人日本デザイン振興会
学生寮として、集団で生活すること
の社会的な意味を、平面図面に積極
的に提案している点を評価された。

CONCEPT

- 個性豊かな学生たちの人間関係の中で社会性を培い、多様な価値観を認め合う寛容性を養う場所
- 異質な他者と自己を知り、他者と折り合い、他者の力を借りながら、各々が自己実現をめざして生活できる場所
- 他人と助け合い、お互いを認め合うことで、自立性と協調性を持った人格を育む場所

5人で1つの小さなコミュニティ《ハウス》。

プライバシーを守った個室を確保しつつ、キッチンや浴室は5人のハウス・メンバーで共有します。
今まで知らなかった者同士が知り合い、助け合い、ともに生活する中で、それぞれが自分探しをして、
自己実現を目指すことができる環境です。

暖やかな共生のためのハウス制 ハウスを構成するABC

Amenity Facilities

快適性を考慮した環境整備



Bedroom Space

個室として静かに過ごす空間



Communicate Living

ハウスメイトと交流する場



●プライベートスペース

ベッドルームは一人一人のプライバシーを確保したスペースになっています。ベッド、机、エアコンなど快適に暮らせる設備に加え、情報端末もありますので、インターネットの利用も可能です。寮には管理人を配置し、夜間休日には警備員を配置しますのでセキュリティ面も安心安全。寮生活を終える際には協調性と柔軟性のある自立した学生であることを認定する「修了証」が発行されます。



●ラウンジ

ラウンジは、お茶大SCCの1階にある多目的のルームで、お茶大SCCと小石川寮の寮生が共同で使用します。
大型デスクを囲んで勉強会をしたり、プロジェクターで映画を観たり、ソファ一席でくつろいだり、目的に応じて自由に使用できます。

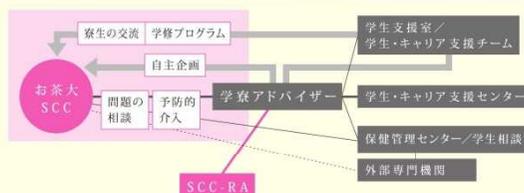
学生支援プログラム

お茶大SCCの3つのコンセプトに基づいて、学生を支援する「学生支援プログラム」が用意されています。寮生同士の交流を促すウェルカムパーティや寮祭などのイベント、寮生自身が企画・運営する自主企画、大学が提供する学修プログラムなど、多彩なプログラムを通じて、いろんな友人と交流することで、かけがえのない体験・成長が得られます。

学生同士の交流	自主性・自律性を養う	広い視野・学修の促進
寮生の適応・交流のための取り組み ●ウェルカムパーティ ●寮祭など	寮生による自主企画 ●ボランティア活動 ●映画上映会など	大学が提供する学修プログラム ●地域・社会との共生など
担当:学寮アドバイザー (交流・生活に関するサポート)	担当:寮生組織 (寮生協議会/ハウス長)	担当:学生支援室/ 学生・キャリア支援センター

大学のサポート体制

はじめての一人暮らしには何かと不安がつきものですが、大学にも寮生をサポートする体制が整えられています。大学に常駐する学寮アドバイザーは、寮生と協同して各種イベントを企画したり、困ったときの相談窓口にもなってくれます。また、学生支援室、保健管理センターなども連携して、寮生の学修の場を提供したり、心身の問題にも対応してくれます。



寮生組織

お茶大SCCでは、5人で1つの「ハウス」を構成して暮らします。そして、全寮生で「寮生協議会」を構成し、各ハウスごとに、ハウスメンバーが約5つの役割を担います。それぞれの役割に寮生が属して活動を行い、寮生活を円滑に進められるようなサポート体制を作ります。また、2年間の在寮経験のあるSCC-RA(レジデント・アシスタント)は、寮生が主体的に生活・活動ができるように、連携して対応します。

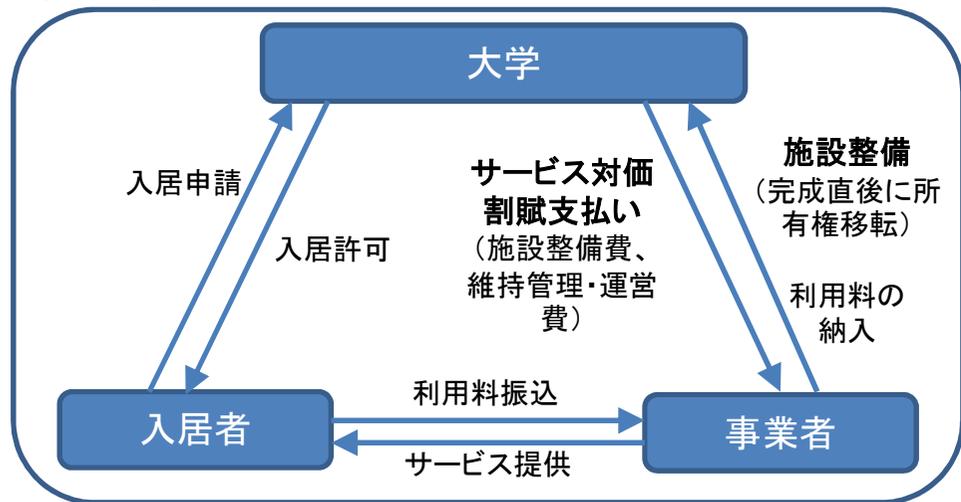


大学の取組事例(2)「金沢大学」

民間資金を活用した学生留学生宿舍の整備

- ・事業者は、宿舍を建設し、完成後に大学へ所有権を移転し、事業期間30年間の維持管理・運営を行う(BTO方式サービス購入型)
- ・大学は、初年度に共用棟等の建設費のみ負担する。次年度以降は、利用料収入等で、施設整備費(割賦分)と維持管理・運営費を支払う。

事業内容



期待される成果

- ・大学: 留学生受入れ体制の強化
居住性が高く、安全・安心な宿舍の提供
学生寮管理業務の低減
- ・事業者: 事業契約により安定した事業収入確保

導入のポイント

- ・長期契約となるため、リスクの検討と事業契約の条項の十分な検討を行った。
- ・固定資産税は所有権を大学に移転することにより、非課税とし利用料の低減を図った。

施設概要



住居棟・共用棟



居室



リビング

施設名	学生留学生宿舍	先魁
構造・階数	軽量鉄骨造2回	鉄骨造1階
延べ面積	2,117㎡	
諸室構成	8LKD×13ユニット(104室) 共用棟、ゴミ置場、駐輪場	
使用開始	平成24年10月	
利用料金	26,270円 (レンタル費含む、預託金・光熱水費を除く)	

大学の取組事例(3)「早稲田大学国際学生寮WISH」

CAMPUS NOW 2012 盛夏号より抜粋

Special Report

グローバルリーダーを育成する 国際学生寮

※完成イメージ図

昨年、学生寮の教育的機能が再評価されています。早稲田大学では、2008年の田無学生寮の竣工に伴い学生寮の運営を一新。大学が提供する学生サポートサービスの一端として学生の成長を促すプログラムや日本人学生と留学生の交流などに力を入れてきました。さらに現在、中野区において日本人学生と留学生が混住する約900名規模の学生寮の建設を進めています。これからの学生寮について、探ります。

グローバルキャンパスを実現させる 「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」

早稲田大学では、中期計画「Waseda Next 125」から引き継ぐ「Waseda Vision 150」の発展戦略として、「グローバルリーダー育成のための教育体系の再構築」を掲げ、国際教育プログラムなどを通して、幅広い視点と思考を身につける学生の育成を進めています。その実現のためにも、現在準備を進めているのが、2014年度オープン予定の「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」です。日本人学生と留学生が混住する約900名規模の学生寮施設（通称：WISH）と、地域社会に開かれた生涯学習の場づくりを提供する教

育施設から成ります。

「WISH」とは「Waseda International Student House」の略称。日本全国・世界各地から集まった多様な個性・才能を持つ学生たちが共に学び生活することにより、相互理解を進め、生涯にわたる信頼関係や学部を越えた人脈を形成し、将来グローバルな舞台で活躍することが期待されます。そのためWISHでは、将来に必須となる能力を磨く「Social Intelligence (SI) プログラム」への参加を義務づけます。

また、住み込みのハウスマスター（管理

人）夫妻が寮生をサポートするほか、RA（レジデント・アシスタント）と呼ばれる先輩寮生が寮での日常生活や勉学、課外活動などをサポート。快適で安全な学生生活を支援し、初めての一人暮らしで不安を抱えている新入生を家族のような温かさで迎えられるよう準備を進めています。

さらに1階の教育施設では、早稲田大学の教育研究機能を生かして地域社会に開かれた生涯学習の場づくりを提供予定。本学の生涯学習機関であるエクステンションセンターを中心に、プログラムを開発中です。

Interview

私が中野区長に就任した2002年に、中野駅の北西にあった警察大学校の移転が完了し、跡地をどう生かすかが焦点となりました。議論の末、区では病院、オフィスビル、大学などから成る「中野四季の都市」を計画。地域、大学、企業が連携することで、企業にとっては新しいビジネスチャンス、大学にとっては教育・研究を生かす場を、地域にとっては新しいビジネスチャンスが供給されることを期待し、産学公が連携して再開発を進めてきました。その中の施設の一つが、「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」です。

中野は個性的な文化のあふれる街で、昔からたくさんの方が暮らしています。寮生は、すんなり中野の街になじんでくれると思いますし、地域も温かく学生を受け入れるでしょう。さらに今後は、多くの留学生が中野で生活することになり、地域にとっても新たな刺激になることと思います。大学の講義だけでなく寮での仲間との交流や、地域行事・ボランティアへの参加などで経験や知見を広げ、将来例えば起業してみること、ここ中野でさまざまなことに挑戦してほしいですね。そして生涯学習講座も行われるということで、幅広い年齢層が早稲田大学の知的資産の厚みを楽しみ、地域としてさらに発展できることを期待しています。



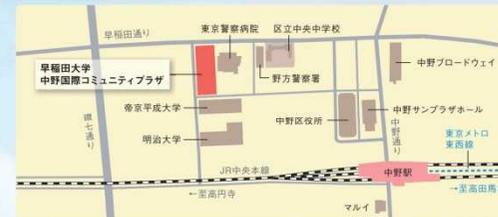
田中大輔 中野区長

図解！「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」

2014年度オープン予定の「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」。学生寮施設（通称：WISH）や生涯学習用施設などを整え、グローバルに活躍する人材の育成と地域との連携を目指しています。



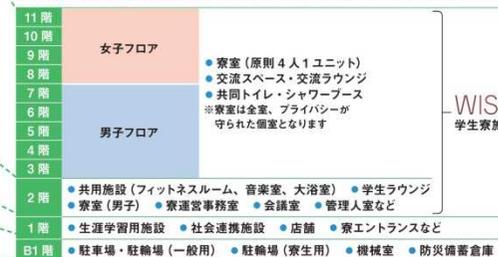
2014年頃の中野駅周辺マップ



〔キャンパスまでの所要時間〕



「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」フロアマップ



4. 留学生の住環境に関する支援

日本学生支援機構留学生借り上げ宿舎支援事業

1. 趣旨

留学生が我が国において安心して充実した留学生活を送るため、民間宿舎を借り上げること等により宿舎を提供している大学等を支援し、もって大学等のニーズに沿って留学生のために宿舎を効果的、効率的かつ安定的に確保する。

2. 事業規模

平成26年度予算額13千万円(平成25年度予算 15千万円、平成24年度予算 17千万円)

支援戸数 借り上げ宿舎 1,502戸 ホームステイ 167世帯

3. 支援対象校

我が国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)、大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関

4. 事業の内容

(1) 支援の条件

○借り上げ宿舎

(a) 学習奨励費受給者等支援

- ・民間宿舎(アパート等)を1年以上、大学等が借り上げる。
- ・文部科学省外国人留学生学習奨励費を受給する留学生又は渡日若しくは進学1年以内の留学生を入居させる。
- ・支援期間は1年単位(更新有り)

(b) 短期受入れ支援

- ・民間宿舎(アパート等)を1年以内の間、大学等が借り上げる。
- ・海外留学支援制度(短期受入れ)による奨学金を受給する者を入居させる。

○ホームステイ

- ・大学間交流協定等に基づいた交流プログラム等により渡日し、かつ、外国の大学等に在籍し、渡日1年以内に宿泊する者を対象とする。
- ・大学等が指定する一般家庭に7日以上留学生を宿泊させる。
- ・同一世帯にかかる支援は年度内1回限り

(2) 支援金額(上限額)

○借り上げ宿舎

(a) 学習奨励費受給者等支援

- ・賃貸借契約1年以上(1戸あたり)
 単身 80,000円 世帯 130,000円

(b) 短期受入れ支援

- ・賃貸借契約1年以内(1戸あたり)
 単身 80,000円 世帯 130,000円

○ホームステイ

- ・ホームステイ年1回(1世帯あたり) 20,000円

(3) 支援金の用途

- ・民間宿舎を借り上げる際に必要な費用
 [例] 契約時の礼金、仲介料、保険料や部屋の原状回復の費用、生活必需物品のレンタル費用、管理委託業者への委託料
- ・ホームステイ受入家庭への謝金

留学生住宅総合補償制度

経緯

平成9年度に内外学生センター(現日本国際教育支援協会)が文部省(当時)の依頼を受け、文部省、大学及び不動産取引業団体等の関係者による検討会を設置し、平成11年3月に「留学生住宅総合補償」を創設。

趣旨

留学生の民間宿舎等への入居にあたり、保証人を探す困難さと保証人の精神的・経済的負担を軽減し、円滑な入居を支援することを目的として、借戸室の失火等で家主等に対して損害賠償をしなければならない場合や、家賃の未払い等により保証人が家主から保証債務の履行請求を受けた場合に、日本国際教育支援協会を契約者とし、留学生住宅総合補償協力校に在籍する留学生で保証人補償基金に加入する留学生を被保険者とする包括契約を結ぶことで補償を行う。

加入条件

留学生	協力校である日本の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程(専門学校)及び法務大臣の告示をもって定められた日本語教育機関に入学した方及び入学確実な方で、原則として在留資格「留学」を有する方。
賃貸借契約の連帯保証人	賃貸借契約の連帯保証をした機関又は個人とし、機関については、留学生の所属する学校等又は地域の国際交流機関等、個人については、留学生の所属する学校等において、留学生センター長・留学生課長等の教職員。

補償金額と保険料等負担金

種別	補償対象者	補償内容	補償期間1年間	補償期間2年間
海外旅行保険	留学生	①留学生賠償	5,000万円限度	5,000万円限度
		②傷害後遺障害	240万円限度	240万円限度
保証人補償基金	保証人	③保証人補償	30万円限度	30万円限度
保険料等負担金 (海外旅行保険保険料と保証人補償基金加入金の合計負担額)			4,000円 (保険料2,500円+加入金1,500円)	8,000円 (保険料5,000円+加入金3,000円)

補償内容

①留学生賠償	留学生本人が補償期間中に、日常生活に起因する事故、または留学のための宿泊・居住施設の所有・使用または管理に起因する事故によって、他人にケガをさせたり、他人のもの*を壊したりして損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合、支払限度額の範囲内で保険金が支払われる。
②傷害後遺障害	留学生本人が補償期間中の偶然な事故によるケガがもとで事故の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合にその程度に応じて後遺障害保険金額の3～100%が支払われる。
③保証人補償	家賃の未払い等により、連帯保証人が家主から保証債務の履行請求を受けて支払った場合に、連帯保証人に対して補償金が支払われる。

公営住宅、UR都市機構住宅における支援

1 公営住宅

空室となっている公営住宅を留学生向け宿舎として目的外使用することが可能。

2 UR都市機構住宅

(1) 留学生入居促進制度

大学とUR都市機構との間に「留学生入居促進制度」に基づく協定書を締結することにより、留学生個人名義にて賃貸借契約を結ぶことができる。

また、敷金3か月分が1か月分に軽減される。

※ 公益財団法人日本国際教育支援協会が運営する「留学生住宅総合補償」への加入が条件

(2) 大学等が名義となる法人契約

国や地方公共団体または大学が契約名義人として機構との間に賃貸借契約を締結することで留学生が入居でき、敷金が免除される。